

いわき建築士

IWAKI-KENCHIKUSHI No.33 2015

平成27年12月1日発行
福島県建築士会いわき支部会誌

December

目

次

支部長挨拶 「建築士会の方向性」

福島県建築士会いわき支部長 蛭田修二 … 2
(有) 蛭田修二建築設計事務所所長

特別寄稿 「復興の植音」

復興庁福島復興局いわき支所次長 林文之 … 3

復興の先に見えるもの！

福島県立ふたば未来学園高等学校校長 丹野純一 … 6

復興公営住宅整備の整備を通して

福島県いわき建設事務所建築住宅部長 田母神秀顕 … 7

津波被災市街地の復興に向けた

まちづくりの取り組みについて

いわき市都市建設部都市復興推進課課長 根本英典 … 9



FUKUSHIMA HAMA-KAIDO
SAKURA PROJECT

いわき万本木安散策ガイドマップ



特集テーマ

「復興の先に見えるもの！」

支部長挨拶

建築士会の方向性

福島県建築士会いわき支部長
(有)蛭田修二建築設計事務所 所長



蛭田 修二

平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災における被害に対する復旧・復興に向けた各方面の作業も震災後 4 年半が経過し、少しずつ落ち着きを取り戻しつつあり、いわき建築士第 33 号のテーマである「復興の先に見える物」を真剣に考える時期に入ってきたように思う今日この頃です。しかし、原発事故による放射線汚染や風評被害に対する対策、津波被害により大きな被害を受け高台への移転をよぎなくされ、新たな街を築かなければならない地域や、被害建物の解体により空洞化が目立つ街の再生にむけた活動が始まりつつある地域など、新たなまちづくりがこれから始まろうとしている地域があるのも現実です。今回のテーマを念頭におき、これからの建築士会の方向性を考えてみたいと思います。

平成 25 年、福島県建築士会は、公益社団法人として新たなスタートをきりましたが、会員の減少や各種事業への参加者不足など、様々な課題を抱えているのも事実です。今年の県総会において、会津支部会員の五十嵐氏より総会の議事進行や、会長選出の方法、県内各支部が抱える会員減少の現状とその対策について質問がありました。総会における議事の進め方と会長選出の方法については、岸波事務局長より公益社団法人としての組織や定款をふまえ、理事会により定められたこれまでの経緯についての説明があり、会員の減少と会の活性化についての県本部としての考え方については、議長である松隈会長に代わり副会長の私から発言させていただきました。県内各支部とも現在の会員数は、最多会員数だった頃の半数近くに減っているのが現状で、いわき支部も同様 285 名（平成 27 年度総会時）と半数近くまで減少しております。有資格者の集合体である建築士会が存続するための条件として、

- (1) 行政や地域社会が会を必要とするなど会自体に実力と魅力があること。
- (2) 会が会員にとっての情報源であり、情報交換の場であると共に知識を習得する場になりうること。
- (3) 行政の評価や、会員交流などにより会員のメリット感が明確に感じられること。

の 3 点をあげ、実現させるには、支部単位での現実的

かつ具体的活動が行われなければ実現できないこと。会員が実働する支部活動が基本にあり、その集合体が（公）社団法人福島県建築士会であるとの考え方を述べさせていただきました。席上、数度の意見交換がありましたが、時間の関係もあり結論的なものは見つけられませんでした。五十嵐氏や会員がもっている危機感を出席会員全員が共有し、今後執行部を中心に検討し続けることで総会を閉じました。総会の席上で意見を述べられた五十嵐氏に感謝すると共に、今、我が会が直面している課題について議論できた有意義な総会であったと思っております

各種事業への参加者不足や会員の減少問題は、いわき支部にとっても解決しなければならない大きな課題です。先に掲げた 3 要件をクリアーすることができ、建築士会の存在価値が自他共に認識されれば解決できるものと思います。今、地域社会は、震災以来復興の途中にあり、我々資格者や物づくり職人など技術をもった人を求めています。建築士会活性化のため外に目を向け、地域貢献活動など建築士が果たす役割について議論し、具体的活動計画をまとめ、出来ることからまず始める決断が今この時期に必要です。また、行政からの要請のあり震災発生以来これまで、多数の会員の協力のもと応急危険度判定活動や罹災調査など、建築士としての活動を続けて参りましたが、これからは、地震や洪水などの自然災害に対する対策として、防災や減災の観点から組織的対応が可能な体制づくりが求められるものと思います。行政や、他団体との連携を図りながら建築士会が果たすべき役割を明確にし、会員が活動しやすい環境を整えたいと考えております。

これらの課題を解決するいわき支部の組織体制は、事業講習、会員、広報、青年女性の各委員会を中心に出来ていると思います。課題は、各事業に対する参加者不足にあると思われます。参加者が増え会員間の交流が生まれ会が活性化されるよう事業内容の広報活動や事業のさらなる充実を図りたいと考えておりますので、会員皆様の事業への積極的参加と合わせて会員が所属する事業所のご理解をいただけますようお願い申し上げます。

特別寄稿

復興の槌音

復興庁福島復興局いわき支所

次長 林 文 之

1 はじめに

東日本大震災が発生してから、4年9カ月が経過しました。観測史上最大規模の大地震と千年に一度といわれる大津波が東北沿岸部を襲い、さらには東京電力福島第一原子力発電所の事故による放射性物質の大量放出という複合災害が発生しました。死者と行方不明者は約2万人、避難者は47万人にも上りました。まさに未曾有の大災害です。

政府は、大震災からの復興を最重要課題の一つと位置付け、復興事業を担う政府機関として復興庁を立ち上げ、復旧・復興に取り組んできました。ここでは復旧・復興の最前線に位置する復興庁福島復興局いわき支所の取組みについて紹介します。

2 福島復興局いわき支所の業務

復興庁は、一刻も早い復興を成し遂げられるよう、被災地に寄り添いながら、前例にとらわれず、果敢に復興事業を実施するための組織として、平成24年2月10日に発足しました。内閣総理大臣を長とし、事務を統括する復興大臣を置き、各省より一段高い立場から総合調整機能を発揮します。

震災からの復旧・復興を具体的に推し進めるためのツールとして、復興交付金や復興特区制度、そして原子力災害に対応するための福島再生加速化交付金など必要不可欠な財源や仕組みが創設され、海岸部では防潮堤や防災緑地、港湾、津波避難路の整備、内陸部では住宅地や災害公営住宅、学校や公園などの整備のほか、被災した工場・店舗の復旧等や新規企業立地の支援といった産業復興、さらには長期避難者の心身のケアなど多岐にわたる分野の事業を展開しています。

こうした事業を被災地の実情に沿って実施するため、岩手県、宮城県及び福島県に各復興局とその支所を、青森県及び茨城県に各事務所を置き、被災市町村の窓口として、ワンストップで対応する体制が整備されました。

前述した復興事業のうちインフラの整備は、被災した県や市町村が実施主体となり復興庁が財源等を支援する仕組みです。

福島復興局いわき支所は、担当市町の事業計画作成の助言、交付金申請の連絡調整などを行い、インフラ整備等の復興事業を担当市町が円滑に実施できるよう支援しています。

次項では福島復興局いわき支所管内の市町が取り組んでいる復興事業のうち、いわき市における事業に焦点を絞り紹介します。



福島復興局いわき支所メンバー、前列右端が筆者

3 いわき市における「住宅再建・復興まちづくり」

いわき市では、市民の意向を汲み取りつつ復興事業計画を作成し、同計画に基づき復旧・復興事業を精力的に推進してします。公共インフラ事業では、これまでがれき処理、電気や道路、橋梁、上下水道などの復旧が概ね終了しており、現在の大きな課題の一つとして早期の生活再建のために「住宅再建・復興まちづくり」が急がれるところです。「住宅再建・復興まちづくり」では、主に

- (1)災害公営住宅整備事業
- (2)防災集団移転事業
- (3)震災復興土地区画整理事業

を3本柱として復興交付金を活用し整備が進められています。

- (1) 災害公営住宅整備事業は、災害により住宅を失い個人で住宅を再建することが困難な被災者が安心して生活できるよう自治体が公営住宅を提供する事業であり、地震・津波被災者向けの災害公営住宅と原発避難者向けの復興公営住宅があります。

いわき市は、地震・津波被災者向けの災害公営住宅を16カ所、1513戸の整備を進めており、平成26年3月から順次入居が始まっています。内訳は、鉄筋コンクリート38棟1367戸（2LDK588戸、3LDK779戸）、木造戸建146戸（2LDK76戸、3LDK70戸）となります。平成27年9月までに890戸が完成しており、平成27年度中に全1513戸で入居可能となるよう鋭意工事を進めています。

いわき市内で福島県が整備を進めている復興公営住宅については、間取り・広さは災害公営住宅とほぼ同様で、平成27年9月までに262戸が完成し入居が始まっており、平成29年度末までに17カ所、全1768戸で入居可能となる予定です。

- (2) 防災集団移転事業は、津波により甚大な面的被害を受けた地域において、今後、住民の居住に適当でないと認められる区域を移転促進区域として

指定し、津波による被害を受ける危険性の低い場所に宅地の造成を行い、移転先用地として整備したうえで、移転促進区域内の住居の集団移転を促進するもので、住宅は個人が再建することになります。

いわき市では、錦町須賀、久之浜町末続、久之浜町金ヶ沢、江名走出の4地区が移転促進区域に指定され、移転先として錦町ウツギサキ、久之浜町末続、大久町大久、永崎町田に44区画の宅地が完成、引渡しが行われ、平成25年6月から順次住宅建築工事に着工し、すでに新居での生活を送っている方もいらっしゃいます。

- (3) 震災復興土地区画整理事業は、広域かつ甚大な津波被害を受けた沿岸市街地の復興に向け、地域の復興ニーズに的確に対応しながら、土地区画整理の手法により、できるだけ早期に震災前より安全・安心で、活力に満ち溢れた市街地の形成を行うもので、こちらも住宅は個人が再建することになります。

いわき市では、久之浜、平薄磯、平豊間、小浜、岩間の5地区で防潮堤と二次堤の役割を果たす防災緑地の整備に併せ、元の沿岸部と内陸の高台部での宅地造成工事を進めています。5地区全体で施工区域面積が137.5ha、1100区画、計画人口は3369人、1234世帯となる大規模な事業です。

このうち岩間地区では、平成27年3月、高台の宅地造成が完了し、引渡し早々から住宅建築工事が着々と進められています。その他の地区でも平成27年度中に宅地引渡しが順次開始できるよう鋭意工事を進めています。

また、小名浜港背後地の震災復興土地区画整理事業では、福島臨海鉄道株式会社の貨物ターミナルがJR泉駅寄りに移転し、その跡地に地区の核と期待される

大型商業施設の開業が予定されています。小名浜地区では、平成27年3月、新魚市場が開業し、今後は国際ターミナルとしての人工島、常磐自動車道と結ぶ仮称小名浜道路が整備されることとなっており、これらと相まって復興まちづくりの一層の進展が期待されま

4 今後の課題

このようにいわき市の「住宅再建・復興まちづくり」は目に見えて進展しています。

一方、いわき市は東京電力福島第一原子力発電所の事故で長期避難を余儀なくされた双葉郡の方々を最も多く受け入れているところであり、復興公営住宅の整備の加速化を図るとともに長期避難者の心のケア、コミュニティの維持・形成や自立に向けた支援、長期避難者と受け入れ側のいわき市民との交流といった課題に取り組む必要があります。

また地価の高騰と宅地不足に対する計画的な宅地供給の促進、依然として風評の影響を受けている観光や農林水産物の風評払拭、放射線健康不安に関するリスクコミュニケーション、地域や業種によってばらつきのある産業の振興等課題は山積しています。

5 おわりに

政府は、東日本大震災の復興期間を10年間とし、平成27年度までの5年間を集中復興期間として、その後の5年間を復興・創生期間として復興計画を示し、関係自治体が安心して復興に取り組んでいただける環境を整えました。

復興は新たなステージを迎えつつあり、復興庁福島復興局いわき支所は、残された課題の解決に向け、今後も被災地に寄り添い、取り組みを着実に推進していきます。



塩屋崎灯台から見た復興工事の状況です（薄磯地区震災復興土地区画整理事業）。



震災復興土地区画整理事業では初となる高台の移転先住宅が完成し、引渡し早々から住宅建築工事が着々と進められています（岩間地区震災復興土地区画整理事業「小原工区」）。



道路を挟んで左側が福島県が整備を進めている復興公営住宅、右側がいわき市が整備を進めている地震・津波被災者向けの災害公営住宅です（小名浜下神白地区）。



福島県が整備を進めている防潮堤です（勿来町関田地区）。

復興の先に見えるもの

東日本大震災・大津波、東京電力福島第一発電所事故発生から4年半が過ぎて、震災復興は目に見える形で、被災者の前にかたち造られている。被害の甚大であった海岸線には嵩上げ防波堤が連なり、防災緑地がうず高く盛り上がり、高台移転用地の存在が幹線道路から見て解る。いわき市の災害復興住宅は建設が終了して暮らしが再開し、福島県の復興住宅も次々引き渡されている。各地の商店街の復興も仮設・本設、話題に尽きない。

放射能汚染の被災地である双葉郡では、県立ふたば未来学園の開校、住民帰還の為の諸施設の対応・整備が為されている。

いわき市では双葉郡からの避難者を含めた市民生活の充実の施策が進められている。清水敏男いわき市長の復興最先端都市としての三提案「医・職雇用・住」、五つ約束「教育先進都市、商工観光充実、強い農林水産、市民の声を聞く、復興の為に国・県・民間の連携強化」の基本方針である。

「医」はいわき市立公立病院の建設が始まり、平成29年度の使用開始を目指して工事が進んでいる。「職雇用」は日本全体がアベノミクスのエンジンになっている。「住」は復興・オリンピック(+Wカップ?)で10年は堅調である(いわき市に空屋問題は存在しない)。

「教育」は「未来学園」、「東日本国際大学の学長にエジプト学の吉村作治氏就任」で日本中・世界中の話題となっている。「商工」はイオン小名浜店の敷地が更地となり長一い用地を体感できる。「観光」はフラガールのメジャー・3A・2Aチーム+民間学生フラと日本中引っ張りだこで、今年の「島サミットいわき市開催」で環太平洋諸国のお墨付きを頂いた。

「市民の声、上下左右の連携」は清水市長のTV新聞の登場数、FBの情報提供数共、フラおじさん顔負け、フナッシー、クマモンに迫る大活躍であると思われる。

言葉が適切で無いかも知れないが「火事場の〇〇力」みたいに、いわき市民、地勢全体が持って生まれた特性を活かして、十全に力を発揮しているのは明白である。

災害復興施策はもうすぐ区切りとなる。(福島第一原子力発電所事故対策は当分区切りは見えない)

今年は第二次大戦後70年後の区切りで、安倍首相談話が発表された。賛否はともあれ、区切りを付けた事は明確に国内外に伝わった事は明確だと思われる。

震災復興も何時か区切りとなり、振り返る時が来るが、今はまだ振り返れないので、先を見てみよう。「フクシマ復興の先に見えるもの」を各方面の方々聞いて見た。(ふくしまのキリン)

青春 サミュエル ウルマン
青春とは人生のある期間ではなく、心の持ち方を云う。薔薇の面差し、紅の唇、しなやかな手足ではなく、たくましい意志、ゆたかな想像力、燃える情熱をさす。青春とは人生の深い泉の清新さをいう。

青春とは臆病さを退ける勇氣、安きにつく気持を振り捨てる冒険心を意味する。ときには20歳の青年よりも60歳の人に青春がある。年を重ねただけで人は老いない理想を失うとき初めて老いる。歲月は皮膚にしわを増すが、熱情は失えば心はしぼむ。苦悩・恐怖・失望により気力は地に這い精神は芥にある。

60歳であろうと16歳であろうと人の胸には、驚異に惹かれる心、おさなごのような未知への探求心、人生への興味の歓喜がある。君にも吾にも見えざる駆通が心にある。人から神から美・希望・喜び・勇氣・力の靈感をうける限り君は若い。

靈感が絶え、精神が皮肉の雪に覆われ悲嘆の氷に閉ざされるとき、20歳であろうと人は老いる。頭を高く上げ希望の波をとらえる限り、80歳であろうと人は青春にして已む。

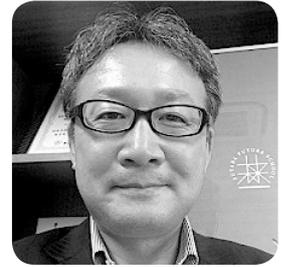
「青春とは、心の若さである」 角川文庫

サミュエル・ウルマン ユダヤ系米国人(1840-1924)「青春(Youth)」の詩で有名な詩人。日本人が初めて知ったのは、1945年9月27日に昭和天皇がマッカーサー極東司令長官の執務室を訪れ、民間人と初めてツショットの写真に写った際に後ろの壁に額入りで掲げられた「Youth」の英文詩を見た時。マッカーサー長官は当時ほぼ無名のS・ウルマンの「Youth」を友人から送られ、気にいって執務室に掛け詠んでいた。後に漢詩調に訳された「青春」を晩年の松下幸之助が気に入り「PHP」を通じて日本中に流行らせた。ロバート・ケネディ司法長官がJ・F・ケネディ大統領への弔辞の中で「Youth」の一部を読んだ事でも有名。S・ウルマンは生涯無名で過ごしたが、晩年過ごした住宅がアラバマ州バーミンガム市で発見され(未発表詩も発見)、JASA(日本協会)が1993年に日米親善の為に買い取り「ウルマン」記念館として運営して日米のこのころの架け橋となっている。日米関係のジーンと来る以外な一面である。(TV番組が1本出来ちゃうな、林先生、知ってましたか?)

復興の先に見えるもの！

福島県立ふたば未来学園高等学校
校長

丹野 純 一



今年4月に広野町に開校した「ふたば未来学園高等学校」の入学生の約8割は、震災当時双葉郡に居住していた生徒たちです。震災と原発事故という、人類が経験したことのないような災害に見舞われ、避難先を転々とし、慣れない土地や学校での生活で、筆舌に尽くしがたい困難に遭い、未だにそれに向き合っている生徒も少なくありません。また、地震、津波などによる様々な被災・被害からの復興が着実に進む一方で、多くの生徒が将来にわたり様々な困難に直面する状況は今も続いています。

一方、こうした状況において、なんとかこのふるさとを取り戻そうという気持ちや、志を持った生徒がたくさんいるということも事実です。

以上をしっかりと見据え、この世界に生きる生徒に対してどういう教育を行うか、これが大きな課題であり、おそらく今回の震災だけではなく、今後日本列島で起こりうるであろう災害により被災する子供に、どんな教育を行うか、世界中で繰り返される災害や紛争により心と体、家庭環境に大きな傷を負った子どもにどういった教育をするかということが、共通に課せられた課題だと考えています。

また、少子・高齢化、過疎化、産業空洞化などが全国的に深刻化する中、震災と原発事故はこれらの課題を先鋭化させ、福島県、特に双葉郡をはじめとする浜通りは、いわば課題先進地域となっています。

このような中、私たちは、これまでの価値観、社会のあり方を根本から見直し、持続可能な循環型社会の実現、自立した新たなコミュニティ・まちづくり、再生可能エネルギー社会の実現など、新しい生き方、新しい社会の建設を目指し、変革を起こしていくことが求められています。それは、震災と原子力災害を経験した私たちに、未来から課せられた使命、ミッションということもできます。

以上の考えから、自らを変革し、地域を変革し、社会を変革する「変革者たれ」。この言葉をこの学校の「建学の精神」としました。

そして、私たちが変わるために、社会が変わるために、大切にすべき価値観や考え、変革のための理念として、「自立」、「協働」、「創造」を校訓としました。

既存の価値観、システムに過剰に依存することなく、自律心を持って自分の頭で考えぬく主体性を身につける、「自立」。そして、どんな困難な課題であっても、多様な主体と共に力を合わせて立ち向かう、「協働」。さらに、これまでの社会のよさに磨きをかけながら、新しい生き方、社会をつくりだしていく、「創造」。

以上の教育理念のもと、先進的な教育プログラムである「未来創造型教育」を力強く展開しており、その柱となるのが、双葉郡の中学校などと連携し、地域と世界をつなぐ探究型学習、「ふるさと創造学」です。片方の足は地域に、もう片方の足は世界へ、この両足でしっかりと立って、ふるさとの未来を考えることを通して、アクティブラーニング（主体的・協働的学習）を展開しながら、全国・世界の地域が直面するグローバルな課題解決にあたる力（解のない課題に挑戦する主体性、協働性、創造性）を身につけていこうというものです。

本校の校章の中心に据えられた「未来」という文字は、最先端の建築物が築かれていくかのようなデザインになっており、人と人とが手を取り合って共に未来を築いていく姿を想起させます。周りの「FUTABA FUTURE SCHOOL」の文字は、「タンポポの綿毛」のイメージを形成しており、綿毛が風に乗る、世界に広がっていく様子から、生徒たちが、実りある学びの成果を世界中に届けるというメッセージが込められています。

この校章が示すように、子供たちが手を取り合って未来を切り開き、それぞれの地域で「変革者」となる姿。それこそが、「復興の先に見えるもの」ではないでしょうか。



復興公営住宅整備の 整備を通して

福島県いわき建設事務所
建築住宅部長 田母神 秀 顕

建築士会いわき支部のみなさん、こんにちは！

震災から4年半が経過し、甚大な被害のあったいわき地方で建築設計にあたられている皆様にとって、地元を必ず復興させるという思いで駆け抜けた4年半であったかと思えます。私は、昨年4月に当事務所に赴任し2年目になりますが、この間、復興公営住宅の整備や県立学校の復旧事業等に微力ながら従事してまいりました。

昨年度も本会誌で復興公営住宅に関する県の方針や整備の取り組み状況等を紹介いたしました。今年も寄稿の機会をいただきましたので、復興公営住宅の整備の現状や、業務を通じての私の経験、思いを書いてみたいと思います。



今年の建築住宅部のメンバーです。最前列向かって右から1人目（アロハシャツ）が筆者です。今年も、5都府県から6名の方に業務支援に来ていただいています。

【現在の整備状況と今後の見込み】 県では、原子力災害による被災者の生活拠点となる復興公営住宅を平成29年度末までに県全体で4,890戸、いわき地区にはその1/3にあたる1,768戸整備することを目標に掲げています。H27.9末現在、いわき地区では3団地262戸が完成、年度末までにさらに55戸の完成を見込んでおり、終期2年前の時点での進捗率が17.9%となります。報道等では、いわき地区の進捗の遅れを厳しく指摘する内容も見られますが、皆さんはどのようにお感じでしょうか？

【応募、入居状況】 入居応募は各団地の整備状況に合わせ、これまで3回実施されていますが、いわき地区は双葉郡に近い地理的条件もあり、非常に高い応募倍率で推移しています。これまでの最高倍率は、今年7月末完成の「平八幡小路団地」3LDK優先住戸（高齢者等優先）の35.0倍です。また、S造中層買取り方式で整備する「常磐関船団地」が2.4倍、県営住宅



【下神白団地】
PC造5階建て 6棟 200戸 設計：(株)清水公男研究所



【八幡小路団地】
PC造3階建て 1棟 12戸 設計：(株)邑建築事務所



【湯長谷団地】
RC造5階建て 1棟 50戸 設計：(株)田端建築設計事務所

では初めてペット飼育が可能な住宅として応募した「小川町家ノ前団地（木造戸建て）」が1.9倍など、いずれも高い倍率となりました。

さらに、入居が開始された「下神白団地」と「湯長谷団地」の入居者の年齢構成を調べてみると、次表のような結果となりました。

60代以上の入居者が全体の2/3を占め、子供や子育て世代が少ない状況になっています。ちなみに、いわき市の高齢化率（65歳以上の割合）は30%弱となっています。生活再建の拠点として民間アパートや自宅を再建される方もいる中で、復興公営住宅は比較的高い年齢層の方の有力な選択肢の一つになっていることがわかります。

世代	下神白団地（200戸）				湯長谷団地（50戸）			
	男	女	total	%	男	女	total	%
0～9	2	4	6	1.8%	0	0	0	0.0%
10～19	1	3	4	1.2%	2	2	4	7.7%
20～29	13	11	24	7.3%	0	2	2	3.8%
30～39	8	6	14	4.3%	1	0	1	1.9%
40～49	11	15	26	7.9%	1	2	3	5.8%
50～59	22	13	35	10.7%	5	3	8	15.4%
60～69	36	28	64	19.5%	10	6	16	30.8%
70～79	44	48	92	28.0%	4	4	8	15.4%
80～89	19	35	54	16.5%	0	10	10	19.2%
90～99	1	8	9	2.7%	0	0	0	0.0%
	157	171	328		23	29	52	

(※H27.4時点)

【整備までのプロセス】復興公営住宅の整備は、用地選定までの第1プロセスと設計、施工の第2プロセスに大きく分けられますが、第2プロセスについては昨年度、紙面をお借りしましたので、今回は第1プロセスについて書いてみたいと思います。

用地の選定作業は、概ね県庁が主体となって行ってきました。一定規模の共同住宅を建設できるまとまった土地で、かつ、生活の利便性も考慮しなければならず、短期間で1,768戸分を確保するのは非常に困難な作業となりました。いわき市の場合、震災直後に応急仮設住宅を3,500戸建設しているので、それらの用地は対象から外さなければならないこと、戸建て住宅の建設需要が非常に高いこと、住宅用地にアクセスする道路等の整備に要する用地も併せて求める必要があること等、様々な条件下で選定作業を進め、地権者との

交渉が難航するケースもしばしばでした。

用地確保に目途が立つと、次は、建設事務所が主体となって地元理解を得るための作業に入ります。最初に、地区の区長さんや役員さんに計画概要を説明し、その後、住民説明会を実施します。これまで、何度も地区の方とお話しをさせていただきましたが、復興公営住宅が地区内に建設されることに対する受け止め方は様々でした。地区の人口が減少傾向にあり復興公営住宅が地区の活性化につながると考えるところや、異なる地域から多くの人に移り住むことに不安を抱いてしまうケースもあります。各地区とも原子力災害による被災の状況に同情していただいた中で、原子力災害補償に対する疑念をお話しされる方もいます。また、復興公営住宅の建設を契機に各地区が抱える問題の解決を要望されるケースも多くあります。例えば、地区内の道路拡幅整備、交差点への信号機設置、大雨による冠水被害の軽減等、県だけでは対応できない要望もあり、いわき市をはじめ関係各所と様々な調整をしてきました。

こうした協議を経て、地元の一定の理解が得られたのちに、第2プロセスへと仕事を進めていくことになります。

【これからの課題】これまでの作業の中で次のような厳しいご指摘を受ける場面が幾度もありました。「県の人たちは転勤すれば復興公営住宅と関係がなくなるかもしれないが、我々は一生付き合っていかなければならない。そこをよく考えてほしい。」

仮設住宅等で不自由な生活を強いられている方に、一日でも早く安心して生活できる住まいを提供することが、今の我々に課せられている最優先課題です。そして、生活再建の緒に就いた方が地元の方と仲良く暮らしていける環境をつくるお手伝いをするのが今後、最も重要な課題になっていくものと考えています。

こうした課題への対応について、毎年当事務所で主催している地域住宅懇談会等の場を通し、支部の皆さんからのご意見をいただきながら見つけていきたいと考えています。



津波被災市街地の復興に向けた まちづくりの取り組みについて

いわき市都市建設部都市復興推進課
課長

根本 英典

平成 23 年 3 月 11 日、いわき市内の多くの中学校で卒業式が行われたこの日、

午後 2 時 46 分に三陸沖を震源とする国内観測史上最大マグニチュード 9.0 の「東北地方太平洋沖地震」が発生し、本市でも震度 6 弱の激しい揺れを観測しました。

地震発生時刻の約 20 分後には津波の第一波が到達、さらに巨大津波となった第二波により沿岸部では約 18ha もの広域な範囲が浸水し、沿岸部を中心に、関連死等を含む死者数が 460 名（平成 27 年 8 月 24 日現在）、住家被害が約 9 万棟を超えるなど、東日本大震災による被害は甚大なものとなりました。

本市は、震災直後に復興対策本部を設置し、未曾有の災害からの復興に向け、職員が一丸となり、被災された市民の方々が一日も早く生活再建が図られるよう、一時提供住宅の確保や水道等のライフラインの復旧などに取り組みながら、国の「東日本大震災からの復興の基本方針」に基づき、たとえ被災したとしても人命を守ることを最重視し、被害の最小化を目指す「減災」の考え方により、海岸保全施設の整備や市街地整備などの「ハード」と、避難訓練や津波ハザードマップの整備、土地利用や建築規制などの「ソフト」を組み合わせた「多重防御」による「津波防災まちづくり」を推進してきました。

津波被災地の復興にあたっては、被災された方々へのアンケート、地区への説明会、個別面談や電話相談などにより、地区の意向を伺いながら事業手法の検討を行い、基盤整備事業として、地域コミュニティを維持しながら高台部に集団移転を行う「防災集団移転促進事業」、また、現位置において、海岸堤防や防災緑地の整備により、津波からの安全性を確保したうえで、道路、公園等の公共施設を整備するとともに土地の再配置を行う「震災復興土地区画整理事業」を実施してきました。

防災集団移転促進事業については、末続、金ヶ沢、

走出及び錦町須賀の 4 地区で実施しておりますが、平成 26 年 12 月までに住宅団地の整備が完了し、宅地引渡しも概ね完了し、現在、住宅の再建が進んでいます。

また、震災復興土地区画整理事業については、久之浜、薄磯、豊間、小浜及び岩間の 5 地区で実施しておりますが、全ての地区で仮換地指定が完了し、現在、家屋の移転補償や宅地造成工事等を急ピッチで進めております。

去る 6 月には、宅地引渡しの予定時期について、権利者の方々をはじめ広く市民へ公表し、今後、宅地造成が完了した部分から順次引渡しを行うこととしております。

このように、本市では、震災からの復興の歩みを一步一步確実にそのペースを上げながら、「ふるさといわきの力強い復興と再生の実現」に全力で取り組んでおります。

そのような中、去る 5 月に、太平洋の島国など 18 の国や地域の首脳が集まる「いわき太平洋・島サミット 2015」が本市で開催され、被災地視察場所として震災復興土地区画整理事業が進む薄磯地区が選定され、現地を視察いただくとともに、安倍首相夫妻とパラオの大統領夫妻が献花をされ、復興に向けた本市の姿を国内外に発信する絶好の機会となったと感じております。

まもなく、震災復興土地区画整理事業等においても宅地造成が完了し、各地区において新たなまちづくりがスタートします。

新たなまちづくりにあたって、本市では、地域が持つ資源や環境を最大限に活用し、地域コミュニティの醸成や魅力の創出を図るため、地区の方々との協働により、まちづくりの目標や方針、さらには活動内容等を具体的に示した「復興グランドデザイン」を策定しました。

今後は、このグランドデザインに基づき、久之浜地区においては、賑わいの核となる商業拠点の形成、薄

磯及び豊間地区においては、雇用の創出に向けた生業の再生や観光産業の復興に向けた交流拠点の形成、小浜及び岩間地区においては防犯・防災体制の充実など、震災前より魅力と活力のあるまちづくりの実現に向け、地区や関係団体の方々と緊密に連携を図りながら、これらの取り組みを一層推進していきたいと考えております。



末続地区（防災集団移転）の住宅団地



被災状況（豊間地区）



造成が進む久之浜地区



高台造成が進む薄磯地区



宅地造成が完了した岩間地区小原工区



いわき太平洋・島サミット 2015



いわき太平洋・島サミット 2015（安倍首相とSP）
後列、内堀福島県知事、清水いわき市長、昭恵首相夫人

福島浜通りの再生と風評被害払拭対策

特定非営利活動法人
ハッピーロードネット理事長 西本 由美子



尊い生命が失われた東日本大震災の発生から4年半が過ぎました。福島浜通りにおいては原子力発電所の事故により多くの方々が避難生活を余儀なくされており、今なお大変な苦勞をされていることと思います。

震災直後から、地元の建設・建築業の方々が果たした役割は非常に大きく、道路を埋め尽くした瓦礫の撤去作業など、寝る間を惜しんで懸命に復旧・復興のため作業をして頂きました。また、直後の救助活動や、

速やかな応急仮設住宅の建設など、被災者支援活動に大きな役割を果たしました。緊急・災害時に頼りになるのは、地域に居て、地域を詳しく把握している地元の建設・建築業の方々であると、改めて実感しました。

当NPOハッピーロードネットは、まち・みち・地域づくりに関するコーディネート、人的ネットワークづくり、人材育成等の各種事業を行い、楽しく住みやすい地域社会の実現に向けて活動してきました。

次世代の人材育成のために昨年まで10年間継続して開催してきたハイスクールサミット。今年は海外から10カ国19名、国内18都道県25校54名の高校生に参加して頂き、「ハイスクール世界サミット in 福島」を盛大に開催しました。未来におけるエネルギーのあり方や、福島の再生について、高校生が真剣に議論しました。

震災後、私たちは希望をなくしつつある浜通りの住民に元気と希望を与えるべく、『ふくしま浜街道・桜プロジェクト』を立ち上げました。国道6号・常磐道・縣市町村道沿線に桜並木をつくり、末永く維持管理していくことにより、震災を後世に語り継ぎたいと考えています。

また、浜通りの未来を担う子供たちが住民の一人として主体的にこのプロジェクトに関わっていける環境をつくり、「愛するふるさとの復興」を作り上げていく礎となるよう、復興のシンボルとして二万本の桜並木を目指して活動を進めています。

維持管理にあたっては、全国を対象としたボランティアやオーナーを募集しており、全国の皆さんと被災地域との交流を活性化することにより、浜通りの復興や活性化に寄与するものであり、全国の大勢の方々からご支援を頂いて活動を継続しているところです。

去る10月10日に「みんなでやっぺ!!きれいな6国」ゴミ拾い活動を復活しました。震災前から、「ゴミを捨てないまちづくり・人づくり」を目指して、子供達と清掃ボランティア活動を行っていましたが、震災により休止していました。子供達からの「またやろう」という声をうけて、5年ぶりの活動再開となりました。

いわき市から新地町までの8区間、約50kmを清掃



ハイスクール世界サミット in 福島



『ふくしま浜街道桜プロジェクト』
桜の植樹と維持管理

しました。集まったボランティアは約1400人。そのうち約200人が高校生たちです。浪江や富岡の比較的線量の高い地域は大人の担当エリアです。前もって放射線量を計って安全性は確認済みです。今回掃除した国道6号は子ども達の通学路となっている箇所です。

震災発生以降、全国の大勢のボランティアの方からの献身的なサポートをいただき、温かいご支援をいただいておりますが、一方で、一部の人たちから「子供たちにこんなことをさせて」と抗議もありました。福島は放射線量が高いというイメージがありますが、線量計を見ると東京などとあまり変わらないと思います。比較的線量の高い地域も一部あるけれども、すべてひっくるめて福島は放射線量が高いと決めつけられ、こ

れが風評被害に繋がっています。福島で生活して、福島のを食べている私たちは人生が終わっていると言われていたみたいで悲しいことです。ごみ拾いの時だけでなく、この地域に暮らす私たちの生活は復活しているのです。「抗議する人たちには、どうしたら私たちの暮らしが良くなるのか、一緒に考えてほしい」「不確かな情報に惑わされずに地域の実情を見てほしい」と思います。

浜通りの再生にあたって、原発事故による風評被害対策は最も重要な課題であり、この地域に暮らすみんなが一緒になって情報発信し、交流を進め、風評被害の払拭に向けて取り組んでいくことがとても大切なことです。



『みんなでやっぺ!!きれいな6国』
清掃活動



あす カナダからの未来への架け橋

社会福祉法人いわき福音協会
大河内記念館館長

岡 部 明



2011年3月11日、午後2時46分に発生した観測史上最大 (Mw 9.0) の東日本大震災は、戦後70年の高度経済成長の上に安穏と生活してきた私たちの暮らしと価値観を、ものの見事に根底から覆す大きな出来事だった。そこには、あたかも映画のセットであるかのように一瞬に流されていく光景があり、為す術もなくひたすらもがき逃げ惑う現実があった。豊かな生活に埋もれた日常では到底想像することさえできなかったと思う。

加えて福島第一原子力発電所の崩壊は、飛び交う風評をさらに増幅させ、その思いを強くした。

当時、福祉施設の管理責任者の立場にあった私は、施設に生活する常時介護を必要とする重度の障がいを持つ50名の利用者の安全を確保するのに必死だった。とにかく飲料水・トイレの水、ガソリン及び暖房用の燃料、食糧、通信手段、医薬品等々はライフラインとしてどうしても必要なものだった。

幸いにして、私たちの所属する身体障がい者の東北ブロック施設協議会、全国の施設協議会の組織が逸早く支援に取り掛かり、物資等を送付或いは直接届けて下さったお陰で、急場を凌ぐことができた。

ボランティアを含む、こうした支援の輪は遠く海外にも波及し、カナダにあっては連邦政府及びブリティッシュコロンビア州政府、カナダ林業界並びにカナダ・ウッドグループによるカナダ東北復興プロジェクトが立ち上げられ、特に被害が甚大だった岩手、宮城、福島の三県に絶大なる支援の目が注がれた。

当いわき福音協会では、この情報を基に双葉八町村を含めたいわき市に暮らす障がいがある人々に役立つ建物を建設しようとプランを練り応募申請を行った。紆余曲折の末に計画書は通り、障がい児者支援センター「エリコ」の寄贈に結びついた。

設計は永年に亘り福祉分野に関係し、大変造詣の深い松崎設計士が担当することとなり、プレゼンテーションに当たって何かスローガンになるフレーズが欲しいと話し合った時、瞬時に思い浮かんだのは未来への永劫性だった。昨日と今日、今日と明日の間に私たちはそれ程変わるものはないと思っている。しかし、無意識に過ぎ行く時間の中で、ある時点と現時点を比較した時、いつの間にか気付かずに変化している自分に驚愕する。だからこそ「今日という一日」は掛け替えの無い大切な一日になる。

国内外を問わず、寄せられた多くの人々の愛をしっかりと受け止めて伝えていかねばならない。「カナダからの未来への架け橋」とした所以である。

「エリコ」は、聖書の中に出てくる言葉である。詳しい説明は別にして、その後「エリコ」には日本フルハップ震災復興事業、カナダウッド/ケベック木材製品輸出振興会などからさらなる支援が届けられ一層整備が図られた。障がい者の方々を支援するための会議、発達障がい者の人たちの日中活動の場などに少しずつだが、確実に利用範囲の拡がりを見せている。

この震災で私たちは一体何を見たか。瓦礫の山々、津波にのみ込まれ死んで逝った人たちの運命、科学を信じ原発に寄り掛かってきた生活など枚挙に暇がない。

しかし、嘆いてばかりはいられない。多くの支援の中で培われた人々の「心」を継承していかなければならない。

心は／誰にも見えないけれど／心づかいは見える
思いは／見えないけれど／思いやりは／誰にでも見える (行為の意味) 宮澤章二

ここに確かな^{あす}未来が潜んでいるような気がする。



エリコ外観
設計 (株)松崎設計、施工 山木工業(株)、木工事担当 ダイテック(株)



エリコ内部ホール

信頼と実績の公益社団法人として 復興事業へ貢献する！



公益社団法人福島県宅地建物取引業協会
会長

安部 宏

東日本大震災発生以来、現在においても当協会では避難者の宅地・建物に関する物件情報の提供について、国や県へ協力すると共に要望・提言を行っております。特に、この度は県と協議のうえ、災害時において全国で初めて仮設住宅として県借上げの民間賃貸住宅を、約 24,000 件を提供することが実現できました。

また、これに関連する「基本協定書」をはじめ「実施要綱」、「事務処理要綱」及び「賃貸借契約書」、「特例措置」等についても、県と協議しながら作成いたしました。このことは、今後の災害対策において、全国標準マニュアルを作成するための資料としても意義を有し、将来予想される災害時においても大きく貢献できるものと思われまます。

現在、当協会では県借上げ民間賃貸住宅の 1 年間期間延長に伴い再契約の事務を進めております。

さらに、仮設住宅や県借上げの民間賃貸住宅から、定住するための土地及び建物を求められる多くの皆さんへ安心・安全な物件を提供することが大きな課題となっています。現在避難されている地域に定住を希望される方々に物件を提供すると、従来から住んでいる方々で計画的に物件を求めようとしていたものが物件がなくなるという現象が起こっています。このことは、平成 25 年 1 月 1 日現在の全国地価公示の発表のとおり、県内ではいわき地域が全国で最高の伸び率となり、その対応に苦慮している状況です。

県においては、復興公営住宅の建設が進められております。一方、いわき市においては、市街化調整区域における地区計画制度の運用基準が作成され、復興に向けて大きく前進しております。このことは、当協会としても他の地域においても早期に実現できるよう、公営住宅用地のための都市計画等との整合性を図るとともに規制緩和による市街化調整区域の土地利用の見直しを行い、避難者自立再生による定住復興住宅の基本計画の促進について、国及び県に対して強く要望活動を展開しております。

また、当協会では県の避難者支援課と協力しながら、東京都、山形県、宮城県等、県外に避難されている現地に赴き、特設会場において宅地・建物に関する相談を受け、県内の現況について説明をしながら、一日も早く帰還できるように支援活動をしてまいります。

本年 6 月、県の新たな支援策として「仮設・県借上げ民間賃貸住宅の供与期間を平成 29 年 3 月までとする。」と発表があり、今後は、県内外の避難者及び一般消費者の宅地・建物に求められる多様化するニーズに適正に対応すべく住環境を整備する必要があります。このことについては、会員一同、公益社団法人として復興事業に全力で貢献したいと考えています。

また、本年は我々業界にとりましては、宅地建物取引業法の改正を受け、「宅地建物取引主任者」が「宅地建物取引士」へと名称が変更になりました。このことは、長年の要望が達成できたことにより、今後は、宅地建物取引士の役割がより重要なものとなり、大きな責任を求められることとなります。このことから、土地・建物の取引におけるトラブルの未然防止に努めてまいります。最後になりますが、避難者の皆様方の住宅再建が図られ、県全体が一日も早く復興再生できますよう支援して参りますので、ご協力下さるようお願いいたします。



団体シンボルハトマーク

相続 (Succession) とは

石井企画株式会社 代表取締役
公認 不動産コンサルティングマスター 相続対策専門士

石井 武典



震災をきっかけに

H 23 年東日本大震災を経験した浜通りの人々は、「生」と「死」が表裏一体であることを改めて思い知らされました。また故郷から離れて避難せざるを得ない人々が、自分の財産についての権利関係を意識するのは当然の流れであるといえます。こうした状況下、私達が自分のルーツや資産、そのバトンタッチについて思いを馳せる機会は確実に増えました。

一方、巷では今年1月1日から適用になった相続税法改正、すなわち相続税増税を受け、「相続税対策」がひとつのブームとなっています。しかし、いわき税務署管轄で相続税を納税するケースはH 25 年で104 人（被相続人の数）であり、実際に納税する必要のある人は多くはありません。増税された今後も、納税者は全国レベルで6%程度と見込まれています。このように「相続税対策」が必要な人は1割に満たないのですが、相続にあたっての分け方、すなわち「分割対策」が必要な家族は増えると考えられます。その理由は、S 22 年までの当然に長子が受け継ぐものとされた家督相続から、均分相続へと民法が変わったため。これを受けて、相続人の権利意識はさらに強まり、家庭裁判所に相談するなどといった争いの件数も着実に増えてきています。



なぜ不動産業者が相続か

弊社では、H26 年2月から毎月相続セミナーを開催し今年12月で26回目となりました。なぜ不動産業者が相続セミナーかと疑問に思われる方も多いことでしょう。日本人の資産のおよそ半分は不動産であり、不動産オーナー（地主・家主）さんの資産では不動産の割合は一層高まり、大部分を不動産が占めるといったケースも多いのです。資産家にとっての相続対策は、まさに不動産対策であるといえるのです。不動産は、現金や有価証券等と比べると、分けにくくもめやすい。

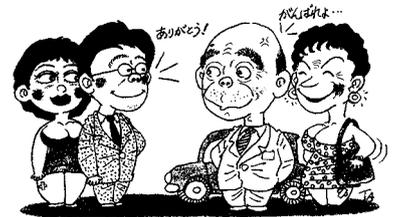
しかし、現金の評価はあくまで額面通りですが、不動産は知識があれば工夫して評価を下げるができる唯一の資産なのです。分筆の仕方ひとつで相続税が大きく異なります。ここで注意しなければならないのは、個々の不動産の特性に着眼した評価の減額は、それに気づかなければ高いままの申告で通ってしまうという点です。土地を日々評価している不動産業者だからこそ適正な評価減ができることを知っていただきたいのです。

私は、諸橋金物株式会社を独立後、不動産業で31年、相続の勉強を続けて20年になりました。これまで来られたのは、いわきの皆様の支えがあったおかげです。自分が長年培ってきた不動産に関わる知識や経験を生かして、相続に関心がある方や困っている方が幸せになれるようなお手伝いをしたいと考え、毎月のセミナー開催や無料相談を受けています。

浜通りの未来のために

現在の浜通りの直面する状況、また少子高齢化を受けて、建築に携わる皆様におかれても、相続に関する相談を受ける機会が増えていることでしょうか。相続は法律や税制に加えて、人の心が絡んでくる難しい分野だといえます。しかし、よくわからないからと避けるのではなく、私共と一緒に協働しませんか。相続の解決には幅広いネットワークが欠かせません。弊社では、司法書士や税理士などの方々と連携し、様々な相続の問題にアドバイスを行っています。

表題の Succession は相続、継承を意味します。また Success は成功です。人々が次世代に生き方や資産をうまく引き継ぐことができるよう、バトンタッチが成功するよう、弊社がその一助になればと考えております。



＜石井企画相続セミナーについて＞

社会貢献事業の一つとして、H26 年2月より相続無料セミナーを毎月開催。不動産オーナーさんを始めとして相続に関心のある方々が毎回30～40名参加し、継続の出席者も多い。来年以降も毎月開催予定。参加自由、要予約、会場はラトブ6階産業創造館。問合せ：石井企画株式会社 TEL 0246(21)0123

地域に希望の明かりを灯すのは自然エネルギーでありたい

いわきおてんと SUN 企業組合

事務局長 島村守彦

震災及び原発事故から四年以上が経過、福島県以外の地域ではその出来事が忘れ去られようとする中、2011年の12月にいわき市で開催された首都圏の経営者が主体となった認定NPO法人JKSKとの車座会議で話し合われた三つの未来作りが一つずつ着実に実行し現実化しています。

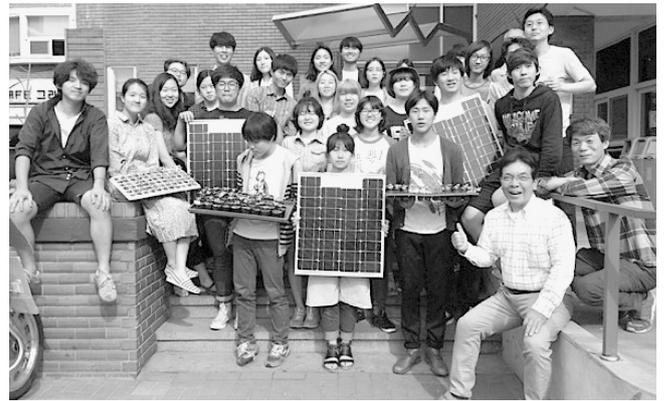
原発事故の影響により加速的に増えた耕作放棄地を何とかしようと始めた「ふくしまオーガニックコットンプロジェクト」は耕作面積が2㌥を超え、栽培にも慣れ収穫量も安定し、コットン畑が活動を支援する個人、団体、企業との交流の場となり、いわき地区に避難されている原発立地地域の皆さんも栽培に加わっていただけるようになりました。皆さんと収穫した綿からはTシャツ、手ぬぐい、タオルと製品化が進み、大手アパレルメーカーさんによる商品化へも繋がろうとしています。



ネパール、インド、アメリカ、カナダの皆さんとの講習会

また「自然エネルギープロジェクト」においては、コットン事業と同じく、多くの支援者とともに太陽光発電所の工事を行い49Kの発電所が稼働、子供たちと学び、作り、活用する「手作り太陽光パネル講習会」には福島県の支援をいただき県内各地の子供たちとパネル作りが進んでいます。

「廃天ぷら油」を車内で精製し燃料化し蓄電する「おてんと号」も大きな話題となり。最近では「おてんと号」の電力を使ってイベントやコンサートを行いたいとの



右下が筆者

要望も多く、県外に向かう機会も多くなっています。

いわき市の秋の風物詩にもなった「白水阿弥陀堂紅葉ライトアップ」も4年連続で太陽光発電による蓄電で全電力を供給しており、自然エネルギーが観光復興にも寄与できています。

福島の現状から学ぶ「スタディツアープロジェクト」も被災地を見学するツアーから、私たちの活動から地域架台解決を探る視察ツアーを受け入れる事が多くなり、国内のみならず海外からの視察受入を多く受入させていただいています。その中でも私どもが実施している手作り太陽光パネルと手作り蓄電システムについては一昨年韓国より招かれ、指導者育成を行い、フィリピンにも講師として訪問、その後ネパール、コロンビア、カンボジア、ラオスと未電化地域を抱える国の方が学びに来られ、私どもの事務所が自然エネルギーを学ぶ国際交流の場ともなっています。

震災及び原発事故は多大な被害をもたらしましたが、新たな価値観による未来作りの始まりでもあったのだと思います。事業化には色んな困難はありますが、犠牲になられた多くの方々を思い、福島だからこそやるべきことに希望ある未来を繋いで行くことに邁進してまいります。



おてんと号

大型建築の木造化と大径JAS製材の可能性

(株)ダイテック
専務取締役

鈴木 健司郎



須賀川第3中屋内

2010年に公共建築物等木材利用促進法が施行され、公共建築物を中心に中大型建築で木造化を進める動きが活発化している。戦後造成された人工林の多くが主伐期に入り、国内の森林資源が木材として利用できる体制が整ってきたことが背景にある。国は09年の森林・林業再生プラン、11年の森林・林業基本計画で2020年の木材自給率50%、国産材の利用量を09年の1800万立方メートルから3900万立方メートルへ倍増させることを目標に、様々な分野で木材利用の拡大、供給体制の整備を進めてきた。各方面での取り組みの成果もあって、先ごろ発表された14年の木材自給率は31.2%と1988年以来、26年ぶりに30%台を回復したという。木質バイオマス発電などエネルギー利用が拡大した影響が大きいですが、非住宅建築の木造化も少なからず寄与しているはずだ。

公共建築物等木材利用促進法では国の責務として「木材の利用の促進に関する施策を総合的に策定し、実施する」ことや「建築基準法等の規制についても検討を加え、必要な法制上の措置を講ずる」ことが定められ、大型建築での利用を想定した集成材の大型パネルCLT（直交集成板）のJAS制定（13年12月制定、14年1月施行）や来年度の告示化に向けた技術基準の整備、耐火建築が必須だった木造3階建て学校が準耐火で可能になる建築基準法の改正（今年6月施行）など木造化が図りやすい環境整備も進められている。

森林面積が91万6000ヘクタールで全国第4位、素材生産量が65万5000立方メートルで全国第9位と全国有数の林業県である福島県でも、11年7月に「ふくしま県産材利用推進方針」が策定（8月31日現在、県内市町村の80%で木材利用方針が策定）され、公共建築物や公共土木事業での積極的な県産材利用が図られている。県は13年3月に策定した福島県農林水産業振興計画「ふくしま農林水産業新生プラン」で2020年の素材生産量を現状の倍の134万8000立方メートルに増やす目標に掲

げており、県産材の供給体制も今後一段と充実してくると思われる。

大規模木造建築の専門会社として91年に設立した当社でも最近では国産材を活用する機会が増えている。しかし、一般に流通している製材品の多くは小規模な住宅向けに生産され、長尺材や大断面材を必要とする中大型建築では集成材に頼るケースが多いのが現実だ。仕様規定で建てられる戸建て住宅などと異なり、構造計算が必要な大型建築では性能の明らかな材料でないと使えないという事情もある。だが、製材に比べると大断面集成材を供給できる工場は限られ、価格も高くなりがちなのが普及のネックとなっている。そこで当社が提案しているのが機械等級JASで格付けされたムクの大断面製材の活用だ。

当社が組合員として参加する協同組合いわき材加工センターでは13年3月、杉のムク大断面材で初めて機械等級区分構造用製材のJAS認定（Aタイプ）を取得した。最大寸法は8^寸×300×390^{ミリ}。それまで機械等級JASは6^寸×150×390^{ミリ}が最大だったが、専用の測定器の開発と内部まで乾燥できる独自の乾燥技術（SD20）の確立によってこれを実現した。強度、含水率が明らかなことから集成材と同じ使い勝手で利用できるのが特徴で、地域の製材工場と連携しながら大型建築への採用を提案している。

ムクの大断面材というと銘木のような希少材をイメージしがちだが、化粧性を考慮しない一般的な大径材は資源の成熟に伴って流通量が増える半面、用途が少なく、産地の原木市場では中径の中目材より割安な価格で流通されている。何より大径材の製材はツインバンドソーなどの量産機械では大き過ぎて製材しにくく、シングル台車が主流の中小の製材工場に向いている。新設住宅着工が中長期的な減少傾向を示すなか、ムク大断面材の普及は、国内林業のこれからの課題である大径材の有効活用に寄与するだけでなく、地域の製材工場の活性化にもつながる取り組みになると期待している。



荒川材木店道作工場事務所 夜景

江名の町再生プロジェクト

神田建築設計事務所
いわき支部青年・女性委員会 神田 まゆみ



江名町はいわき市の東側に位置し、前は太平洋、後ろは山に囲まれて、夏は涼しく冬は暖かく平地区とはかなりの温度差を感じる抜群に気候のよいところです。

かつて、福島県有数の漁港とも言われ、沿岸・沖合・遠洋漁業で栄え「江名の人は裕福だ」とうわさされるほど豊かな町でした。

しかし、1976年の200海里問題を発端に、その後の法整備等で漁業が衰退し、人口減少も加速していく中、2011年3月の東日本大震災による地震及び津波の被害で、元船主さんの家を始め多くの建物が解体されました。

当時、その状況を目の当たりにした私達女性建築士が火付け役となり、美味しい食べものがあり建築の“伝統技術の宝庫である”町並みをどうにか残して欲しい、再生して欲しいとの思いで町のみなさんに呼びかけプロジェクトを立ち上げました。

その一環として“おまつりをして町を盛り上げよ

う！”と、昨年第1回目のイベント「海あるき・まちあるき」を開催しました。

建築士会のみなさんにもお手伝いをしていただきまして、たいへん盛況でした。

今年はバイクの“SRミーティング”（毎年、山中湖で開催しているそうですが、今年は「復興支援に福島へ行こう！」と全国からいろいろなバイク557台が江名に来ました）と同時開催の企画でした。

地元のおばちゃん達が、ぼーぼ焼き等のお料理やお弁当、まちあるきの景品のストラップを手作りで用意して下さいました。

みなさん数日前から準備されて、生き生きとした表情でおもてなしをされていました。

今年は、江名小のよさこい・江名中の吹奏楽・海星高校のじゃんがら・地元のおばちゃん達のフラダンス・フラダンス教室・一和会の太鼓そしてアクアマリンの移動水族館等、盛りだくさんのイベントでした。

アンケートによると「とても楽しかった」「来年も参加したい」という意見が大多数ありました。

今年の来場者は2500名でした。

かつては、漁師の家族としてたくましく支えてきた女性たちを中心とした江名の住民が、これからの江名地区の再生に向けて積極的に動き出してきたように思われます。

今後も、青年委員会と共にこの町の再生を見守り続けたいと思います。



海星高校じゃんがら念仏



地元のおばちゃんのフラダンス？



さんまポーボ焼き



一和会太鼓



ヤマハ SRミーティング

救済の建造物「阿弥陀堂」

株松崎設計
いわき支部広報委員長

小野田 博



奈良時代に日本に伝来し、平安時代に広まった浄土の思想に「末法思想」で苦しむ民衆は救済を求めた。全国に200～300箇所（現存3か所）建設され、最大の建物は時の権力者藤原頼道が京都宇治宇治川の畔に建立した平等院鳳凰堂である。近年解体改修作業に入り昨年朱色も鮮やかに蘇った。日本銀行発行金券に画かれる日本国を代表する建造物である事に異論はあるまい。人々を宇宙から飛来して救済する「大日如来」を本堂に安置する建物である。救済の為のハードとソフトを完備し、建造物の「美」を備えた完璧なシステム・仕掛けである。

平等院鳳凰堂は中堂（本堂）の左右（南北）に翼廊を後ろ（西側）に尾廊を配し正面（東側）に宇治川から引き込んだ浄土池を配するダグミックな配置計画をしている。中堂に安置された如来像は定朝（注1）の作で高さ4.85mと大きく、通常の人間の視点から如来像を見上げると眠たそうな印象のお顔であるが、視点を高くすると、天空を睨む鋭い視線となり、作者の意図（民衆救済）の深い作為が窺われる。如来像は堂の扉が閉まっても外部からお顔を拝むことが可能な仕掛けが有る事でも有名である。

我がいわき市には、県内唯一の国宝建造物「白水阿弥陀堂」が存在する。平泉の金色堂は阿弥陀堂であるが浄土庭園（池）が無く、毛越寺の浄土庭園には阿弥陀堂は存在しない。多くの阿弥陀堂にも浄土庭園（池）を持たない例が多い。平安末期に平泉の藤原家より岩城氏（則道公）に嫁した徳姫が建立したと伝承される「白水阿弥陀堂」は、明治時代初期の廃仏毀釈で疲弊して廃屋の一步手前となり、浄土庭園は田んぼであった。昭和に入り数度の発掘改修により、平成に於ける望みうる最高の条件で福島県民、いわき市民の手元にある。

今年の春、JR東日本の旅キャンペーン「大人の休日倶楽部」で、昭和のマドンナ（表現がセピア色？）、平成の徳尼（サリストの皆様ごめんなさい）・吉永小百合様（注2）が、いわき市に來られライトアップされた浄土庭園の新緑を愛でる TVCM に出演された事は復興に励む福島県民・浜通り・いわき市民を大いに鼓舞した。超ド級（喩えが化石）の嬉しいアップングでした。そして今（11月）浄土庭園と周囲の山並みが紅葉の季節

を迎え約800年続くこの世の（日本の）浄土（天国）の景色を演出している。吉永小百合様もお忍びで来ているのか知るらん。（現代の吉祥天女・深田恭子様は秋にいわきで映画を撮った。注3）

1000年地震・津波に襲われた東北・関東太平洋岸の住民、人類史上初の自由経済圏の放射能禍に苦しむ福島県の被害当事者にとって救済の建造物とは何で有るのかを考えたい。被災された方々の復興住宅は関係者の御尽力により計画通りに完備しつつある。防災拠点施設も姿を現している。高台が近くに無い海岸では津波避難防災タワーが建設される（高知県）。多くの安全・安心の為の施設が計画・建設される。

今年9月国会で「安ボ法制」が可決された。激しい反対行動と誹謗中傷・罵詈雑言の中で誕生した法案であるが、悪意ある人災（侵略戦争、意図的な破壊・テロ）に対する備えである事は確かだと安倍政権に3/4の信託を与えた有権者の一人として思う。経済競争（戦争）の勝利者（金持ち）が力で物を奪う事は100%無い。（イスラエルを除くので99%）金で買えない物はこの世に無い。（貧者の思想、愛だって買える）

浄土（現代日本社会）のソフトは備えたので、ハードを備えなければならない。ハード（建造物・環境）を構築するのは、戦国時代に黒鉄者と呼ばれた非戦闘職能（建設・土木）の関係者である。物を構築する職能は、本能的に破壊（戦争）を好まないのは自明の理だ。競争は職能の中にこそある。

注1. 定朝：平安時代後期の仏師、寄木造り木像の完成者、定朝様の開祖。白水阿弥陀堂の弥勒菩薩も定朝様です。

注2. 吉永小百合：東京都渋谷区生まれ70才、O型、日活映画入社の女優・歌手、早稲田大学第二文学部卒、約100本の映画出演。ファン群「サユリスト」を持つ。魅力維持の為に母親とならなかったが、老け顔にならず娘役と区別が付かないのが近年の悩み。

注3. 超高速参勤交代「老中の逆襲」のお咲、湯長屋藩のお姫様になってくれます。

注4. 白水阿弥陀堂の駐車場が舗装されて無く、駐車ラインが引かれていないのは「オモテナシ」としては恥かしい事だ。吉永小百合様も驚かれたと思う。

●全国高等学校フラ・タヒチアン競技大会 文部科学大臣杯争奪「第6回フラガールズ甲子園」

フラガールズ甲子園実行委員会
実行委員長 赤津 慎太郎



県立いわき総合高校チーム優勝

今年も8月22日・23日の2日間にわたり「フラガールズ甲子園」が、いわきで開催されました。この大会は環太平洋の踊りを通して高校生の健全育成を図ることと、「フラガールのふるさといわき」を全国に発信していく目的で、課題曲（フラ）と自由曲（タヒチアンダンス オテア）2種目の審査の合計で順位を競い入賞したチームは憧れのスバリゾートハワイアンズ・ビーチシアターで踊ることが出来るという高校生のフラとタヒチアンダンスのコンテストでの大会です。

そもそも常磐音楽舞踊学院1期生で初代フラガールのトップダンサーだった小野恵美子氏の発案で第1回大会が2011年3月に開催するはずでしたが、大会を目前にして発生した東日本大震災の影響で中止を余儀なくされました。しかし、「踊りたい」という出場するはずだった高校生の声に、多くの支援者が集まり、9月に東京・AKIBA SQUAREで開催することが出来ました。当時は被災地支援のイベントとして大きくメディアに取り上げられました。翌年にはいわきに場所を戻し、いわきから笑顔と元気を全国に発信する復

興事業として15校が出場し盛大に開催されました。第3回は8校増えて23校が出場、第4回ではこれまでの実績と公益性が認められ文部科学大臣杯争奪という冠がつき、24校が出場しレベルの高い大会へと成長しました。

そして今回からは、これまでの実績に加えてタヒチアンダンスの審査委員をタヒチから迎えて、その国の文化に忠実な専門性の高いフラとタヒチの競技大会になりました。その中で最高の踊りを披露し、最優秀賞文部科学大臣賞に輝いたのは、地元の福島県立いわき総合高等学校でした。地元の優賞は初めてのことで大変な盛り上がりを見せました。

フラガールズ甲子園には1. 高校生の高校生による高校生のための大会である。2. 踊りを研鑽する中で、社会性を身に付け豊かな心と健全な体を育む。3. 全国の高校生が触れ合いながら、環太平洋の異文化と交流を深める。という3つの理念があります。大会の運営に関わっている地元の高校生や大会終了した後に「道の駅よつくら港」で開催した交流パーティーなど、単なる技術を競うだけの大会ではなく、この大会を通じて高校生に大きく成長してもらいたいという願いが込められています。また、この大会に出場したチームは地元のイベントや施設への慰問活動など積極的にボランティア活動にも参加しております。

これからも新しい取り組みに挑戦しつつ「フラガールズ甲子園」を通じて地域の発展と高校生が成長する機会作りに努めていきたいと思えます。

●福島県立磐城高等学校吹奏楽部「金賞受賞」

「第63回全日本吹奏楽コンクール」において金賞受賞。全国大会出場は3年連続16回目、金賞は6年ぶり6回目。全国大会は平成27年11月1日(日)名古屋国際会議場で開催。

演奏曲

課題曲 西村朗「春の道を歩こう」

自由曲 JS バッハ「無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番ニ短調BWV1004」シャコンヌ

指揮者 根本 直人（いわき明星大学特任教授）

顧問 宗像 涼子 安齊 慎一郎 高木 初枝

部員 77名（11月1日現在）



●(株)ハニーズ 社長 江尻 義久氏インタビュー

聞き手 建築士会いわき支部長 蛭田修二、広報委員長 小野田博

平成 27 年 11 月 6 日、於 (株)ハニーズ社長室

文稿正 (株)ハニーズ 経営企画室 阿部里美



数年前と記憶していますが、フジテレビ日曜朝の報道番組「新報道2001」の日本経済特集で、いわき市のハニーズがミャンマーでアパレル生産を開始したという内容の放送を見ました。日本企業の最先端の動きとして、地元のハニーズさんが取り上げられていて、正直、驚きました。

NHKの看板番組「クローズアップ現代」でも取り上げられたと聞きます。私たちが住んでいるいわき市の企業が、日本経済の最先端を走っている姿を誇りに思うとともに、若い女性向けファッションといういかにも難しい分野で業績を伸ばされている事実に敬意を表します。

インタビューの前に、私たち建設業界とファッション業界の関わり合いについて私見を述べさせていただきます。「衣食足りて礼節を知る」という中国のことわざがありますが、そもそもファッションとは、都市の発展と密接に関係していると思います。都市は、地域に根付く歴史や文化と相まってユニークな発展を遂げますが、都市化が進み生活が豊かになり、自分と他人を、余裕をもって顧みることができて初めて、それぞれの都市空間にマッチした豊かなファッションが生まれるのです。渋谷には渋谷の、原宿には原宿の、そ

していわきにはいわきにふさわしいファッションが存在すると思います。

■女性ファッション業界におけるハニーズさんの事業戦略を具体的にご説明願います。

□江尻社長：これまでは10代から30代後半の女性を主要な顧客としてきましたが、今は、40代まで拡大したいと考えています。私たち小売業界は、2050年代の日本の人口が6千万人まで減少するとみています。従いまして、5万人から10万人程度の地方都市においては50代までカバーしたいと考えています。松田聖子さんを見ていると若々しくて頼もしいと感じます。

■素人的には、女性のファッションは個性が大切にされますので大量生産には向かないと考えますが、どのように解決されているのでしょうか。

□国内の店舗は850店舗ありますが、年間約5千型を投入しています。1店舗当たり2枚、色は5～6色ありますから、同じ街で同じ洋服を着ている人はあまりいません。

■ユニクロの成功は、新しい形態と機能の発見で男性向けにも大量販売を可能としていますが、女性向けフ

トピックス

アクションでは可能なのでしょうか。女性向けならではの秘訣があるのでしょうか。

□私たちは新しさの追求、高感度、高品質、そして中間マージンを排除したリーズナブルな価格で対応しています。

■今後、さらなるグローバル展開、例えば開発途上国や欧米諸国への店舗展開を考えていますか。

□現在はおよそ国内 850 店舗、中国 500 店舗ですが、四季のない東南アジア諸国ではジャケットやコートのような重衣料があまり売れません。また、欧米への展開は、今のところ考えていません。

■ハード面、いわゆる店舗数、出店地域、店舗形態はいかがですか。

□日本はスクラップ・アンド・ビルドが中心ですが、中国においてはまだまだ拡大できると考えています。日本ではショッピングセンターなど大型店舗にテナントとして入っています。中国では百貨店が中心で、面積も小さく内装などの投資額は少なく済みます。

■デザイン、単価、対象年齢などソフト面はいかがですか。

□自社のファッション動向調査が中心ですが、デザイン調査会社のレポートなども参考にします。最近の傾向は保守的でベーシックなものが好まれています。今年春はガウチョパンツ、秋はニットのロングコートが流行しました。直近の課題は少子高齢化への対応で、団塊ジュニア世代を取り込まなければなりません、さほど困難な問題とは考えていません。

■日本の都市環境、生活環境の変化などについて、改善すべき点なども含めご意見をお聞かせください。

□政府に対しては、ぜひ、少子化対策、高齢化対策の充実をお願いしたい。人口統計を見てもはや待ったなしの状況で、国内の小売市場は確実にパイが縮小していきます。GDPの多くを占める第3次産業そのものが小さくなっていくと思われます。

■現在のいわき市の復興状況や将来像について意見がございましたらお願いします。

□震災後3年程度はなかなか復興が進んでいないという印象を持っていましたが、現在は災害復興公営住宅の整備も進んで、ようやく目に見える形になったと思います。



ミャンマー工場 全景
設計監理 高木設計 高木 陽、担当 遠藤

■最後にミャンマー工場建設の内容と、苦労話などをお聞かせください。

□2年前は中国の委託生産が全体の8割、残り2割がアセアン地域などからの輸入でしたが、現在は中国45%、アセアン及びバングラデシュ55%という状況です。アセアンシフトを急速に進めた理由は、急激な円安と中国における人件費の上昇です。また中国から商品を輸入する場合約10%の関税がかかりますが、アセアン諸国の場合は、LDC向け特恵関税制度があって関税がかかりません。リーズナブルな商品価格を維持するためには、こうした戦略が必要でした。

このアセアンシフト戦略の中心を担っているのが自社のミャンマー縫製工場です。現在の従業員数は、第1工場、第2工場合わせて2300人、将来は4000人規模になる予定です。

第1工場を取得したのがまさに東日本大震災の渦中でした。契約日は2011年3月10日、大震災後も粛々と契約通りスケジュールをこなしていったので、周りには目を丸くしていました。また、私たちが、ミャンマーの民主化後初の外国資本による現法設立となりましたので、その後ブームとなった「ミャンマー進出セミナー」などに講師として出席すると2000人を超える申し込みがあったほどです。

追記：江尻社長と蛭田支部長は小名浜出身という旧知の間柄で、和やかな挨拶からインタビューを始めることができました。年間売上高600億円、従業員数9000人の日本を代表するパイオニア企業の社長さんに直接インタビューできたことは、光栄であり、また勇気をいただきました。

トピックス

いわき市こども元気センター建設



子供元気センターイメージパース

清水敏男いわき市長の市政の目玉である、こどもみらい部が平成27年4月から発足して、最初の目に見える実績「いわき市こども元気センター」が平成28

年1月の完成予定を目指して建設中です。場所は植田町の鮫川河川敷沿い、櫛田病院の向いの後宿公園内(本町1丁目12)。延べ面積1,470㎡、鉄骨造2階建て。屋内運動場と子育て支援機能を備える。屋上運動場、屋外遊戯池を備えている。小体育館を備えた時間外学童施設、子育て支援施設で対象は0才より12才となっている。少子化・子育て支援対策は日本中の行政の悩みであるが、清水市長はいち早く対策を打ったことに成る。こどもみらい部はこども家庭科、支援課、みらい課が有り、子育てに関する相談を受け付けています。(編集部)

磐城共立病院建て替え計画

清水市長の選挙公約の要諦「医・職・住」の三本柱の一本である磐城共立病院の建設が進んでいる。共立病院は1950年の1市29村による一部事務組合立病院より始まり、1966年のいわき市の誕生と共にいわき市立病院となった。救急指定病院、災害拠点病院で、現在は25科828床、延べ床面積57,029㎡の規模となっている。敷地は旧国道6号線と市道平・内郷線(バイパス)に挟まれた市街地で、増改築を重ね、8Fの高層棟を南側に配して、敷地いっぱい建物が建設された状態となっている。山を削った駐車場は4か所あり556台確保しているが駐車に苦勞する状態である。施設の老朽化、耐震性能を満足できないので、平成21年新規計画され、24年9月造成契約して、造成、解体工事に順次着手しスタートした。

新病院は敷地東側の駐車場に配置され、建築面積約



共立病院 外観パース 北西側より

12,700㎡、延べ面積約63,700㎡、高層棟13F、構造はS造SRC造(免振)で屋上ヘリポートを備える。直接基礎方式。内容は25診療科目、700床で病室は1床室と4床室が基本となる。高層棟は2本の桁行方向長廊下と1本の短廊下、梁間方向5本の廊下で形成される。現在より梁間方向が長くなっている。駐車場は現在の病院部分に大幅に拡張される見通し。大型ヘリコプターの離発着が想定されている。東京電力福島第一原子力発電所事故対応関係者、相双地区からの避難者による仮想いわき市民の増加、高齢者の増加対応、若い世代の人工増加施策の為にも最新医療施設への期待要望は切実なものがある。福島県中通りの医療水準に劣らない高度な医療機関のハード・ソフト両面の充実が必須である。(編集部)



共立病院4床室(モデル病室)

※数値は基本設計画時。新しい実施設計概要は近日中に公表予定です。

トピックス

島サミット、いわき市会場開催

国家会議である太平洋・島サミットがいわき市スパリゾートハワイアンズ会場で開催され、安倍首相他多数の太平洋諸国首脳がいわき市に来られました。前回は沖縄那覇市でしたので、東洋のハワイ・いわき市の名は太平洋の隅々まで知れ渡りました。安倍首相もカリユシ姿の緊張した表情とは違って、ハニーズ製のアロハシャツを着てころからリラックスできたものと思います。各国首脳は津波被害の復興地区を訪れ鎮魂の献花をしました。また安倍昭恵夫人に案内された首脳夫人達はスパリゾートハワイアンズ奥の遠野町の(株)丸三呉服店・金澤翔子美術館を訪れました。丸三呉服店は東日本大震災の被害を受け改修再営業を企画するなかで、起死回生の作を打ち店舗の半分以上を金澤翔子さんの書道作品を展示する事にしました。金澤さんとの関係は社長さんが個人的に好きである事以外は全く縁が無いという「雲の糸」の様な話です。金澤さん側も「ハイヨ」との返事だったそうです。金澤翔子美術館は全国に3か所あり、丸三呉服店は1号館です。

金澤翔子さんは今春、NYの国連本部で世界ダウン症国際会議に出席して、揮毫しました。世界中の要人達を前に日本文化である「書」を披露しました。様子は美術館に写真展示されています。島サミットでも丸



写真提供 いわき市

三呉服店の平安貴族館庭の御白洲の上で揮毫しました。各国首脳夫人達も「心」を初めて書いてくれました。昭恵夫人の心は一見の価値があると思いますので訪れて下さい。

丸三呉服店の場所は阿武隈山中集落の中、平安貴族館の様な店舗・庭園と常識外れの経営で、世情から離れた「着物」が商品で、素人目では成立するとは思えません。

島サミットで太平洋諸国首脳夫人達に「日本文化」を強く印象付けるハード・ソフトを備えた組織がいわき市の山中に存在していた事に感謝申し上げます。

(編集部)



金澤翔子美術館と日本庭園（喫茶コーナーでは器を選んでお茶を堪能できます）

東豊国酒造見学

3年連続で日本酒の全国コンクール受賞の記事が県民紙に載り、若い建築士协会会员より推薦もあり、初代建築士会いわき支部青年部長の矢内秀幸さんの御実家でもあるので、石川郡古殿町の東豊国酒造を訪れた。季節は中秋で新酒の仕込みの忙しい時期でした。

天保年間約180年前から酒造りが始まり、現店舗兼住居は明治時代の建造になる佇まいは阿武隈山脈の山懐にいだかれ、山々からの伏流水が音を立てて流れ、山々に掛かる雲の重しがしっかりと大気を抑えています。小さな醸造元はいかにも手作りと思える設備で、人の手、配慮が酒の質の大きな部分を占めているのが門外漢にも理解出来ました。杜氏は岩手県から来ていると以前の記事を見ましたが、現在は専務の矢内賢征さんが指揮を任されているとの事です。福島民報の記事によれば賢征氏は早大出の29才で、永い伝統の中に若い情熱を含ませようと奮闘中との事です。若い杜氏は「一步己」「超」と新しい銘柄に挑戦中ですが、売れ筋は以前からある「東豊国」で、一升瓶を購入して飲んで見ますと、「銘酒これ水のごとし」が頭に浮かびます。私は日本酒の愛飲家ではありませんが、食中酒としての「東豊国」は無口で純朴な性格が思い浮かび、食材の旨みを引き立たせてくれる役割を果たしています。こんな身近にこんな優れものがあって良い物かと疑いながら一升を1週間で空にしました。

(H20)



いわき Wine ワイナリー

認定特定非営利活動法人みどりの杜福社会（理事長 今野 隆）は、H27年秋に果実酒製造免許を取得していわきワインの販売を開始しました。会は数年前よりいわき市内各所でぶどうの栽培を開始し、東日本大震災、福島第一原子力発電所事故の直撃にもめげず、いわきワインの製造販売にまで漕ぎ着けました。いわき市初のワイナリーです。場所は上好間、元平カントリーGCの西側高台です。今野氏は障害者の働く場所としてぶどう農園が適していると考えて構想を実現してきました。ぶどう栽培の適地を求めて市内各所で実験栽培し、ぶどう栽培の本場山梨県のぶどう農家を訪ねてノウハウを高めてきました。醸造設備も本格的に備えて漸く果実酒製造販売免許を取得して、いわきワインの赤、ボジョレー、梨ワインの白を商品化しました。11月15日（福島県議会選挙投票日）にラトブのいわき産業創造館展示ホールで、約300人のワイン愛好家といわきを代表する仏料理のシェフ萩 春朋氏を迎えて「いわき夢ワイン」のお披露目をしました。1000円ワインの愛好家である私は最近1500円を超えると印象が変わる事を知った初心者ですが、印象は赤・白共質実で華やかさが少なく、気になる点はありませんでした。ボジョレーはワインの新酒というたぶん日本人だけが騒ぐ（亜種）の先入観があるので印象はありませんが、マイナスの若さです。私は福島県議会にボジョレーの誕生を期してワインを堪能していたのですが、果たせなかったのが心残りです。

(ポリフェノール・白)



トピックス

市制 50 周年いわき花火大会と蔡國強氏

いわき市議会議員 小野 潤 三



小名浜港の現地視察をした蔡國強氏(右)と筆者

5市9町村の大合併でいわき市が誕生して、来年でちょうど50年。この記念すべき年のいわば「メインイベント」として、いわき花火大会が選ばれました。いわき市が募集した記念事業に応募し、選考会で最優秀賞に選ばれたのです。

この50周年花火の「キモ」は、世界的に著名な現代芸術家で、火薬のアーティストとして知られる蔡國強(サイ・コッキョウ)氏が企画を担うことにあります。蔡氏は北京五輪開会式のプロデュースに関わり、巨人が上空を踏みしめて五輪会場に向かっていく様を花火で表現したことで知られています。

実は、蔡氏が才能を開花させた場所はいわきなのです。社会主義国の中国では前衛芸術が危険視され、追われるように東京にやってきたものの、彼の作品はなかなか評価されませんでした。その才能に気づいたのがいわきの画廊でした。いわきに招かれた蔡氏は、市民の支援を受けながら、太平洋上の導火線に火を付け地平線を表現した「地平線プロジェクト」などの創作活動を行っています。彼の個展を世界で初めて行ったのは、いわき市立美術館でした。

その後活動の拠点をニューヨークに移し、世界的な名声を手にするようになった蔡氏に市制50周年花火の企画を打診したところ、第2の故郷・いわきのためならと、快諾を得ることになったのです。

いわき花火大会実行委員会が市に提案したのは、昼花火と夜花火でした。蔡氏にしか出来ない驚くべき技法の1つが昼花火です。これは映像を見ていただければ一目瞭然ですので、You Tubeで「Cai Guo Qiang」と検索していただければと思います。

明るい青空の下で鮮やかに繰り広げられる昼花火のインパクトは強烈です。蔡氏が開発した技術に芸術的創造性が加わり、見る人を圧倒します。これまで蔡氏の昼花火は上海やスペイン、カタルなど海外では行われてきましたが、日本ではいわきでの打ち上げが初となります。

蔡氏の提案は、昼花火は震災から5年のメッセージを込めた復興の花火、夜花火は市制50周年へのメッセージを込めた花火、というものでした。いわき花火大会の会場には、例年、いわき市民だけではなく、近隣市町村の方々、いわき出身でこの日のために帰省する首都圏在住の方々など10万人が訪れます。その方々が小名浜港の広大な空の空間を舞台にした花火によって、震災からの思いとiwakiの半世紀を振り返り、心1つにすることが出来るのです。記念すべきこの年を祝うのに、これほどの場があるでしょうか。

私は市議選に出馬するまで、この実行委員会の事務局員でした。7～8年前、蔡氏を知り実行委員会の花火担当者と小名浜港で、蔡氏の花火を上げたいという思いを語り合いました。1度目の打診は不調に終わり数年後に再び打診しましたが、こちらも準備が不十分で、うまくはいきませんでした。今回は蔡氏に対する3度目のアプローチ。何年も温めてきた思いが、いわきの復興と未来につながろうとしていることに感無量です。

現在は、来年8月の実施に向け、実行委員会の動きが始まっているところです。予算面や技術面など、具体的に詰める大変な作業が待ち受けています。それらをクリアし、市内外の方々に蔡氏の花火を見てもらいたい、会場に集った方々の思いを1つにしたい、と考えています。是非皆様も来夏、小名浜港に是非足をお運びいただければと思います。

施工図を読み解く「現場力」の養成セミナーに参加して

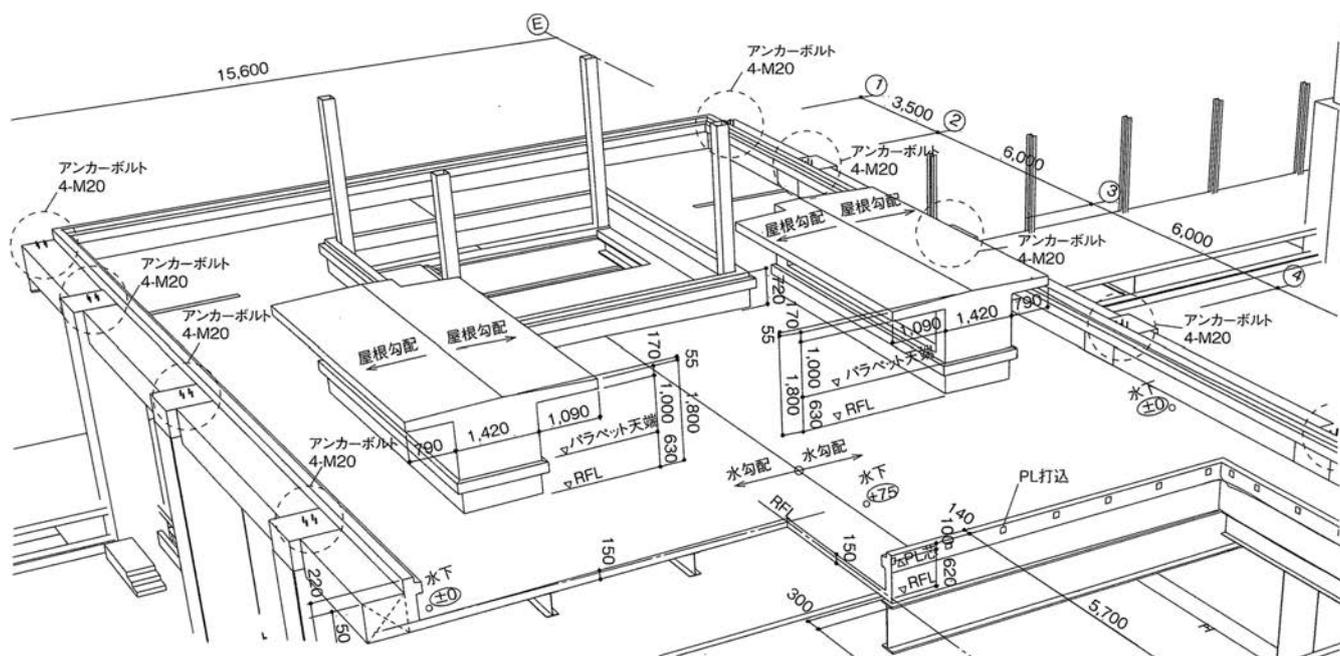
いわき支部 副支部長
常磐開発(株)

仲井 健

このたび、(公社)日本建築士会連合会が毎月発行している会報誌の8月号の中に、建築士会 CPD 認定プログラムの案内として、設計・施工技術者のための品質管理セミナーがあった。私もその情報は事前に分かっていたので、業務上の必要性から200名の定員に漏れないよう早々に申し込みをし参加してきました。主催側も(公社)日本建築士会連合会の建築施工系技術者育成部会とあってか、ほぼ満席の状態の状況でセミナーは始まりました。

内容としては、昨今、建物の品質確保が大きな役割を担っていて、その中で施工図による品質の情報伝達が重要なポイントであるとの事でした。しかし、一方では施工図の作成は外注化が進み、外注化はその周辺業務まで広がってきて建築生産システム全体にかかわる問題ともなっています。近年の施工図業務は^{注)}アウトソーシングされ、ゼネコンから外注施工図専門業者に依頼し作成してもらう外注化が主流となり、建設業界全体の流れから出来上がった施工図はあまり読み込まれもせず、ほとんどチェックすること無く、現場管理をしているゼネコンの若手職員もいると将来を懸

念する声も聞かれます。当然の事ながら建物をつくるのはゼネコンであり、施工図専門業者がどんどんと育って優秀になるのは良い事ですが施工図の中身についてはゼネコンの思いや考えの入ったものでなければならず、又、設計図がそのまま施工図専門業者へ渡され、伝えたいものや思いの入っていない施工図が各施工業者へと渡るとい事はあってはならない事であり、そもそも施工図は何のために描くのかを考えてみると、建物を施工する上で現場では多くの職人さんがかかわります。必要な情報を正しく伝える事を目的に作成し、工事をする上で施工可能な納まりの検討や仕様、性能の仕様を同時に考慮する事で、品質を落とさない図面へと仕上がっていきます。施工図を円滑に始めるためには、初めて設計図を見る施工図作成者から指摘を受けて問題解決に当たるのではなく、当該物件を担当する設計者が設計図書発行後に速やかに図面検証を徹底することで、事前に不整合部分解決の指示することが望ましいとされています。これは情報の共有化・図面発行管理も施工図を進める上では重要な要素となり、最新の情報を「管理」する、「伝達」する



次世代の3D施工図

ことを徹底しないと間違っただままで工事が行われる可能性もあり、十分な注意が必要となります。

◎これからの施工図、BIM化、3D化

1990年代にパソコンの高性能化が進み施工図もCADを使うようになり、建築スキル・作図スキルに加えてCADスキルも必要不可欠となりました。又、CAD化により施工図の作成業務も楽となり、2D-CADとしての性能は現在でも劣らずその成果は抜群といえます。しかし近年になって、ハードウェアもソフトウェア進歩し設計図書はBIM化が都心では徐々に進み、そして施工図もまたそれにならって3D化の一步をたどっています。では3D化にする事により何が変わるのかと言いますと、3D化のメリットは次の2点が大きな要因を占めています。

①分かりやすい表現方法……図面を読み解く事が平易

となり、外国人などの非熟練作業員でも間違いのない確実な施工ができる。

②省時間化……3D施工図に習熟すれば省時間に貢献できる。

の以上の2点で考えられます。

最後に今後は2D-CADより進化した3D-CADの出現により、より高度なITスキルが要求されていくと思います。そして、IT進歩はこれからも進み将来はさらに高度なITスキルが要求され、私達技術者も進歩を続けるITツールを駆使して行き、少しでも高品質な建築物の施工に貢献していければと願っています。

注) アウトソーシング……企業が自社の業務を外部の専門業などに委託する事。

建築施工の不正事案と建築士の責務

アーキ・プランナー株式会社 (ラトブ6Fいわき創造館内)

代表取締役 植松章芳



昨今、東洋ゴム工業(株)製の免震材料不正事案やマンション等の基礎工事不正事案のニュースが毎日のように報道されている。

どちらの事案も企業のコンプライアンスの欠如に関する問題であることは当然であるが、施工会社の現場代理人は、日々寝心地が悪いであろう。

東洋ゴム工業(株)製の免震材料不正事件の原因は、生産過程での免震ゴムが建築基準法上の大臣登録仕様の許容範囲(±10%)を超えていたものを現場に設置してしまったらしい。工場内の生産・販売過程での杜撰な管理に原因が考えられる。

また、横浜市の方譲マンションの基礎工事事案に係る旭化成建材の不正な行為の原因が公表されていないのでコメントは控えたいが、人間のヒューマンエラーと言うより、現場責任者の自己管理の欠如が原因として考えられる。

今回のデータの改ざんは、姉齒建築士の耐震偽装を報復させる内容でもある。

発注者と受注者そしてその業務に従事する建築士や建築関連業者のモラルを強く意識しなければ、また同じような施工不良が発生する可能性が考えられる。

建築業務に携わる1人の建築士として発注者に対す

る責任のある設計や工事監理をしなければならないことを痛切に感じる。

今回の不祥事が設計担当者と施工担当者の工事監理と工事管理のミスマッチが原因だとしたら、この不正行為が対岸の火事だとは思えない。

いわき市内でも最近高層マンションの建設が増えてきているが、完成・引渡しまでの一連の流れにおいて、建築士が関与しない業務は1つも無い。

国土交通省では、マンションの姉齒建築士の耐震偽装事件以来、建築士の不正行為と見なされる案件が発覚した場合、個人名と処分内容がネット上で公開されるようになってきている。安易な自己判断によって致命的な結果をもたらすことを肝に命じ、建築士として大切なことは、契約～設計～工事監理～完成・引渡しの一連の流れに対する内容について、判断基準となる目安を形成しておくことがとても重要なことだと感じる。例えば、建物の売買契約、建築工事請負契約、条件付き建物契約、基礎や躯体の構造基準、建物の施工精度、施工工程ごとの検査基準、建物の性能基準(耐震等級等)等々である。

決して人ごとではなく、自分に言い聞かせながら日々自己研鑽をしている。

新国立競技場設計コンペ

2020年の第二回東京オリンピック・パラリンピック会場の第一建設決定案・ザハ・ハディド案が実施工事金額の紆余曲折の末、安倍首相の鶴の一声で廃棄され、第二回目の1500億円の予算による設計競技中である（H27年10末）。漏れ聞く情報によれば、伊東豊雄氏（1回目参加）隈健吾氏（1回目不参加）による一騎打ちで有るらしい。伊東氏の第一回コンペ案は全体楕円形のフラットルーフの中央四角穴あき案で、廉価が特徴で、決定第一案の予算が高騰して反対運動が過熱すると、40年前の競技場のリニューアル屋根掛け案を提案して話題を集めた。伊東氏の今まで設計建築物の特徴は抽象的、無国籍、近未来^(注1)だと田舎鼠は理解している。隈健吾氏の第二回コンペ案は秋田杉を意匠に取り入れた案で全体像は承知していない（歌舞伎ポイかも）。今まで設計作品の特徴は具象的、和風、前近代もあるで伊東氏と隈氏は現代日本の設計思想界では対局にあると理解できる。龍虎の対決で案決定が待ち遠しい。戦後日本建築を代表する丹下健三氏の代々木競技場（プール）に匹敵する21世紀日本を代表する世界的な名建築が出来上がる事が期待出来る。

第一決定ザハ・ハディド案の誕生には、安藤忠雄氏がコンペの審査委員長として関係していた。ハディド氏はイラク国出身で英国に設計事務所を持つ世界的な女性建築家で、経歴・作品を見ると、女安藤忠雄と呼べる徒手空拳の強者である。アイデア・デザインが強烈過ぎて、コンペに勝てない、完成しても万人受けしない等、アンビルドの女王とも呼ばれる。近年時代がようやく彼女に追いついてソウルの複合施設^(注2)は、デザインが人を呼び国際的な成功をもたらしている。新国立競技場案も一次案から二次案へと諸批判をクリアしてより好ましい形になったと田舎鼠は思っていたら、ツインのキールアーチ^(龍骨注3)が高騰を招いてコンペのやり直しとなり、ハディド氏は再提出を断念した。第一案をJOC名誉委員の森喜朗氏は生牡蠣の様だと（北陸の岩牡蠣）酷評したが、私はロンドン五輪に出場した女子体操の田中理恵さん^(注4)の築く腕ブリッジの様だと思っている。女子体操選手が腕ブリッジを築くのは平均台のバク転の一瞬だけで、他には練習でマット上で腕ブリッジを築く事がある。彼女達はレオタード姿であるので男性は立って居てはならない角度がある。田中理恵さんの腕ブリッジの瞥えは両手・両足と反り返る背骨の姿が、二本のキールアーチの書く曲線と同じ様に、得も言われぬ美しい姿になったであろうと想像するからである。

他にはイラク人女性が設計した美しくダイナミックな陸上競技場が日本に完成して、世界中の賞賛を浴びれば、イスラムの女性達を刺激して、彼女達の自立・自覚を促しイスラム男性社会が引き起こしている仲間割れ（IS問題）、他宗教との紛争、貧富の差を女性の力により解決するきっかけに出来るのでは無いかと思ったのだった。イスラム（一夫多妻）を根本から変えるのは寝室の中の男女の力関係からである。

経済大国日本の首相が廻りの雑音を気にして、1500億円余計に50年に一度の自国開催世界平和のお祭りに費やす事をためらったのはかなり残念な事に田舎鼠は思う。代々木のプールは垂れ下がった二本の背骨^(注5)で、キールアーチは田中理恵さんの腕ブリッジのように美しく、見てはならない角度は存在しないというのに。中東の紛争解決が1500億円できっかけが掴めるならば安い物では無かったか？安倍首相は世界平和の旗手になれたのでは無かったか？ザハ・ハディド氏の構想は近い将来他国で実現される。日本の首相が世界平和の旗手に成れるのは24年以上先の事で、この目で見える事が出来ない事が残念である。三点に於いて世界の女性が輝く構想であったが、国民も安倍首相も気付かなかったのは残念である。^(注6)（田舎の鼠）

注1 伊東豊雄、最近作、台湾高雄ワールドゲームズメインスタジアム。プリッカー賞受賞

注2 東大門デザインプラザ、ミュージアム・コンベンションホール・イベントホールの複合施設で宇宙からの飛行物体

注3 大型木造船の舳先から艦に走る力骨、ひっくり返して梁になる。二本（日本）の龍骨が聳える東京を龍が住んでいる（守っている）象徴。日本海溝に1000年龍が住んでいるのは衆知の通り。中国人民軍は迂闊に日本を撃てない龍を撃つ事になるから。

注4 稀有な日本人八頭身女子体操選手。近年難度が高まった女子体操は小柄な体躯が有利となり世界的にスタイルは採点に加味されず容姿は問題にならない中、158cmの身長でアイドル的存在、現在日本体育大学助教。YGの坂本選手との仲が取りざたされた。

注5 伊勢神宮は棟持ち柱2本が直梁を支えていて、代々木の吊り梁と基本的に同じ構造である。二次コンペは和式伝統を駆逐出来る隈氏を個人的に応援する、無国籍は理解出来ない。

注6 代々木の体育館設計を担当して、画期的な構想（吊り構造）を発想した丹下健三氏は、設計を進めて見積もり段階で予算の壁にぶつかった。丹下氏は大蔵大臣の田中角栄氏に直接談判すると、田中氏は即座にヨッシャ、ヨッシャの返事を返してくれたのは有名な話。それでも予算が追いつかずメンテナンスにお金が掛かっているのは専門的な話。吊り構造はル・コルビジェのソビエトパレスのアレンジで、伊勢神宮と同類なのは最専門的。

チェリーブロッサム JAPAN、ブレイブ JAPAN の勝利！！

RUGBY WC 英国大会が今年開催され、4年後の2019年、東京オリンピック・パラリンピックに先立ち日本で開催される事は知っていて、新国立競技場(ザハ・ハディド氏設計)でこけら落としで開催されるものと思っていたら、予算が合わないからと簡単に予定が変更されてコンペがやり直しになり、RUGBY WC 日本開催はヨコハマアリーナが主会場に変更された。

体の小さな東洋人である日本人にとっては、RUGBYは世界レベルから遠く離れていて、どうせ盛り上がりがないのだから、新品の会場を用意しないで既存のサッカー WC 日・韓共同開催の時の会場を使用させても、観客も選手も文句を言うまい、言える筋では無いだろうと、文科省のスポーツ担当の関係者は多可をくくっていたはずであった。ところが世の中はドッコイである。

戦後70年の日本政界の大きなエポックである「安保法制」が難産の末、野党の馬鹿馬鹿しい(私見)反対抵抗の末、漸く深夜2時に参議院で可決された次の日の深夜同時刻に、英国南部の保養地ブライトンから、世界のスポーツ関係者を驚愕させるNEWSが全世界に向け発せられた。RUGBY WC 英国大会の優勝候補の一角「南アフリカチーム」が極東のRUGBY開発途上国の「JAPAN」に敗れたとの一報である。約115年前の大国ロシアのバルチック艦隊が極東の日本海で壊滅したNEWSと同じくらいに世界を驚かせた出来事だった。

殆どの(私を含めて)日本人は、JAPAN RUGBYが変貌している事を知らなかった。代表メンバーの半分がヤマトンチュウ顔をしていない西洋、南洋顔で体がデカイ、3年間の日本滞在でJAPAN代表になれる、日本にプロリーグは無く、大企業のサラリーマンである事。HC・ジョーンズ氏は日本人の血を引き、中身の魂・頭脳は日本古来式である。朝5時から始まる数次の猛練習(豪州で採用すると代表希望者が居なくなるとの事)。体重100kgを越えるFW、FCが100m全力疾走を繰り返す走力。100kg×8人が押し合うスクラム。密集の中でボールを持った猛者が振り回す太い手足、蒸気機関車の動輪に挑む様なタックル等、相撲取りもフットボウラーもアメリカンFBも野球人もバスケットボウラーもありとあらゆるチームスポーツ選手、愛好家が目を見張るスポーツがRUGBYである事を嫌が応でも認識させられた。

英国発祥の背広(Savile Row)が似合う為には胸板



芝生を張り替えた、いわきグリーンフィールド
写真提供 福島建設工業新聞

がぶ厚い事が必須であるので大企業の営業マンであるJAPAN代表は最も格好が良い若者である事に疑いの余地は無い。大金を求めない潔さ、JAPAN、愛社の為に猛練習に耐えるプライド、世界の猛者達を恐れない勇気と男の中の男達だと、にわかRUGBYファンとなった私は思うので、若い女性達(若くない女性も含めて)の熱狂ぶりは想像に余りある。あまつさえである、五郎丸というハンサムボーイ(妻帯者)もデビューさせた。現在29才なので4年後までMAXの状態に引張れる状態にあるのは八百万の神様の配慮であろう。ゴールキックの時のルーティン(儀式)の指三角は富士山型、ピラミッドパワーの精神集中による、多神教の日本精神の象徴で、一神教のスコットランドのSH グレイグ・レイドローが実に、無造作にキックを決めるのと対照的であり大変興味深い。

民族混合のJAPAN代表は少子化JAPANの解決策^(注1)で、月月火水木金金のハードワーク猛練習は日本陸軍の兵隊鍛錬(近代日本の正当性)を想起させ、チームプレイ・連携・信頼の大切さを^(注2)教えてくれて居るように思う。RUGBYは芝生の上のスポーツであるから豊かな国情でないと流行らない。小中高校のグラウンドが芝生張りでないとは出来ない。(現状では泥んこになる)日本の教育環境もまだまだ先が長い事を文科省の施設担当者に理解して貰わなければならない。(芝生の土竜)

注1 少子化対策は出生率の向上だけでなく、優秀な留学生、日本を理解する移民を増やせば良い。(企業の国際化は日本人にとって厳しい事になるが国際競争勝利には必須)

注2 集团的自衛?(ボールを前方に投げない自制、フェイント、一気呵成勇猛果敢、審判絶対)

復興の先に見えるもの

一般財団法人ふくしま建築住宅センターいわき事務所

所長 山川 博 士



東日本大震災から4年8か月が過ぎました。福島県では連日放射線測定値を公表しておりますし、様々なイベントが企画され、実行されているようです。阪神淡路大震災の時もそうであったように私達の災害に対する意識は徐々に薄らいできます。ましてや遠く離れた地域では意識が薄らいでしまうのは無理からぬことです。過日、市の文化センターで行われた復興支援コンサートでも東日本大震災が忘れられようとしているとの話がありました。事実、広島の高雨災害、茨城の鬼怒川堤防決壊による災害等自然災害の報道により、私たちの意識の中でもまたかという感覚が無いわけではありません。

私事になりますが、ふくしま建築住宅センターに務めて2年8ヶ月になります。私共の事務所に限った確認状況を見ますと、震災直後は確認件数も凄まじい件数であったと伺っておりますが、現在の状況といえは住宅等の確認は一定の申請件数は有るものの、申請受付は徐々に低下してきているように思われます。とは言え、残業しなければ処理しきれない状況に変わりありません。まして、適合判定を要する様な大型物件はより少なくなって来たように思われます。津波の影響による集団移転となる場所への確認等も徐々に徐々に出て来ております。また、福島県が進める復興公営住宅も進捗がみられます。なかでも買取り型の復興公営住宅などは、民間活用の最たるものとなるのでしょうか。市内でも木造戸建て住宅が建設されるようです。さらに公営住宅（共同住宅）も相当数建設されようとしておりますので、仮設住宅や借り上げ住宅は徐々に解消されて行くのではないのでしょうか。一方、相双地区に於いては、徐々に住宅の建築確認が多くなって来ており、人々の生活が戻りつつあると思える状況です。それにも増して建設作業員等を対象としたものと思わ

れる宿舎、旅館、長屋等が次々に建設されており、その件数の多さには驚かされます。この様にかなりの数の住宅等が建設されておりますが、いつまで続くのだろうかと不安がつのります。復興という号令のもと、建設される建物の需要は今後どの程度続くのか、社会活動の基本である働くため、雇用を生むための生産施設の様な投資的建築物が少ないように思われます。原発、除染等の作業はいずれ終焉を迎えることになろうかと思われませんが、後に続くための施設が無ければ人も金も消えてゆくのではないかと考えてしまうのは私だけではないのではないのでしょうか。建築工事は忙しく資材も人もいないと騒がれていますが、設計事務所の方々からはそれほど忙しくはないという話を聞きます。このことをどの様に解釈すればよいのか分かりませんが、私が思うに地元の企業では一定量しか建設できない状況であるとすれば、地元企業が対応できない部分の工事を中央から大手が来て受注し、仕事をこなしていくという構図なのかもしれません。とすると、この建設復興が終わるころには、仕事もなく、人もいないという状況にもなりかねません。復興の先は必ずしもバラ色ではないのではないのでしょうか、今から復興が一段落した時に何をすべきか考え、力を蓄えて置かなければと思いますが、なにをどうしたら良いものか思案のしどころです。私の好きな作家、相田みつおさんのことばに「途中にいるから中ぶらりん、底まで落ちて地に足が着けば本当に落ち着く」というのがあります。今こそ、いわきの将来を腰を据えて落ち着いて考えなくてはいけないと思います。私たちにできることはほんのささやかなことですが、自分で出来ることを精いっぱいやって行こうと思います。

支部活動報告

●いわき支部総会開催 〈6月13日(土)〉



新舞子ハイツで開催して出席者は45人でした。蛭田修二支部長の挨拶に続き、議長選出により鈴木茂信氏を選出して議事に入りました。平成26年度の総務委員会、事業委員会、会員委員会、青年・女性委員会の昨年の事業活動報告、会計報告をして承認されました。続いて27年度の事業計画、会計予算が発表され

承認されて、27年度の総会は無事終了しました。続けて隣室に場所を移して懇親会が開催されました。8人の来賓があり阿部健一いわき市都市建設部長よりご挨拶を頂きました。支部表彰では木下建築設計事務所の木下公夫氏が表彰されました。新入会員紹介もありました。恒例の余興はいわき芸能クラブの悠雲（ユーウン）さんでした。例年出席者が減少しているような気がして、企画者の配慮が必要であると感じます。
(外野席)



●事業・講習委員会／会員委員会報告

小名浜港橋梁見学報告書

事業・講習委員長 櫛田武伯



集合写真



注意事項説明

日時：平成27年4月24日（金）
午前9時00分～11時30分

見学者数：40名（会員：31名）

研修目的：建築士としての知識と技術の向上

見学概要：現在、小名浜港内に整備中の小名浜港3号ふ頭から人工島を繋ぐ臨港道路橋梁の施工現場見学をさせていただきました。

当日は、国土交通省東北地方整備局小名浜港湾事務所様のご厚意により、徒歩による橋梁施工現場の見学の他、港湾船舶に乗船し海上からの橋梁現場と小名浜港湾ふ頭の見学となりました。見学の際は港湾事務所の方にご同行して頂き見学者からの質疑にその都度、



船舶上での説明

支部活動報告



橋梁断面

丁寧に対応して頂きました。

船舶での見学の際は、防波堤内外の波の大きさ、揺れを体感することができ防波堤の必要性と大切さを実感しました。また、普段見ることのない海上からの港内とふ頭毎の役割等熱心に説明していただきとても有意義な見学となりました。

ご多忙の中、貴重な機会と時間、ご協力を頂き港湾建設事務所の方々に感謝しております。

ありがとうございました。

合同 BBQ 活動報告

日 時：平成 27 年 9 月 27 日（日）
午前 10 時 20 分～ 14 時 30 分
出席者数：17 名（会員：9 名）
開催目的：会員及び知人友人との懇親



ハイキング

開催概要：

今回は、例年行われていた三和町でのバーベキューに替わり「田人おふくろの宿」にて、会員及び最近入会された方々、同僚、知人友人の方々との懇親を深める目的でウォーキングとバーベキューが企画されました。

「ウォーキング」というよりハイキング気分で会員仲間、孫、子どもの計 12 名で「四時川渓谷と里山を巡る簡易コース」を散策しました。

当日は、朝方まで降った雨で足元が悪く、展望台で記念撮影をして引き返すという短縮コースとなり少々残念でしたが、程よくお腹も空き、ジンギスカンをおいしく頂くことができました。



展望台にて記念撮影

食事を終えたころには、天候も回復し、急遽施設敷地内でテニスを楽しみました。

殆どの方が未経験者でなかなかラリーが続きませんが、段々と熱が入り心地よい汗を流し企画終了後、バーベキュー利用者はお風呂が無料で頂けるとの事でしたので日頃の疲れを温泉で取り、食欲の秋、スポーツの秋を満喫できた充実した一日となりました。



ラム肉 BBQ (ジンギスカン)

● 会員委員会報告

第 58 回 建築士会全国大会 「石川大会」 参加

いわき支部会員委員長 奥 山 修 一



鼓 門

「百万石の地で触れよう 未来につなぐ まちづくり」をテーマに10月30日全国大会が石川県金沢市にて開催されました。私たちいわき支部は10名の有志にて大会に参加し2泊3日の研修を行いました。歴史と伝統の町「金沢」の正門を表現する鼓門は、金沢の伝統芸能である加賀宝生の鼓をデザインモチーフとするらせん状にねじれながら建つ柱の構造美が素晴らしく、また東広場を漂うもてなしドームは約5500本のアルミフレームと3019枚の強化ガラスで構成され、日本最大級である。



ひがし茶屋街

2日目はキムスコ（木虫籠）と呼ばれる、美しい出格子がある古い街並みが残り、国の重要伝統的建造物群保護地域に選定されている「ひがし茶屋街」。かつて藩士が住んでいた屋敷跡であり、土塀が続く街並みの「長町武家屋敷」。その歴史を象徴する観光地を共存する町に開かれた公園のような美術館をコンセプト



全国大会会場

とする「21世紀美術館」などを見学しました。

*金沢21世紀美術館（妹島和世＋SANAA事務所作）
円形の建物であることから、どの方向から見ても正面性を持っており、公園のように人が自由気ままに入出入りできる建物である。

3日目は立山黒部アルペンルートを散策しました。立山からケーブルカーで美女平へ、そこから紅葉を楽しみながら高原バスにて標高2450mの室堂に着きました。辺りは雪化粧されていましたがさわやかな晴れの日だったので神秘的な景色を堪能しました。そしてトンネルトロリーバス、ロープウェイ、ケーブルカーにて黒部湖・黒部ダムに到着しました。ダムは放水していましたが電車の時間が差し迫っていたので、ゆっくり見ることが出来ず少し残念でした。



室 堂

1・2日目は歴史の街並みと建物・現代建築物など過去から未来へ建築が歴史をつなぐ研修、3日目は自然を堪能する研修と充実した3日間を終えました。来年は10月22日大分県別府大会です。

建築とクラシック音楽

シオヤ産業(株)
代表取締役

小野 行彦



コントラバスを共演する筆者(右)と妻(左)

案外“クラシック音楽”と“建築”というのは“芸術”という側面のみならず、その“構造体”に共通点を多くみる事ができます。例えば、施主－設計－施工、三位一体の形は、聴衆－作曲家－演奏者に置き換えることができます。また、30～40業種におよぶ施工業者が作り込む事で一つの“建築物＝作品”を完成させるのと同様に、バイオリンに始まり管楽器・打楽器と20を超える楽器の種類、パートの調和により交響曲等が完成されていきます。優れた施主に育てられ優れた建築が生まれる様に、優れた聴衆の存在により優れた音楽が成立するものなのです。・・・と大きく持論を展開するのも、

「趣味は何を？」

「オーケストラに参加して年に数回演奏会を・・・」

「・・・・・・・・・・。高尚なご趣味で・・・」

「ありがとうございます。」

何度、「ゴルフで・・・」と言い直したい衝動にかられたか(100を前後しているので(笑))・・・。最近はその会話が申訳なく、映画鑑賞で・・・とお茶を濁す始末です。

しかしながら、“そうじゃないんだ！建築に関係されているのであれば、是非、クラシック・交響曲を一曲でも良いから聴いて！”が本音なのです。

どうも、クラシック音楽というと退屈で、長くて、眠気を誘うに最高のツールと感じていらっしゃる方が多いようで・・・(とはいえ私自身、本番中あまりの心地よさに弓を落として響きを買ったことがあります)。ところがクラシックの起源から考えますと、所説ありますが、バロック音楽を起源とした場合、17世紀初頭から発生し、なんとその歳月は400年。しかも、今

なお商業ベースに乗る興行としてとらえられる数少ない瞬間芸術の一つとも言えます。あまたの音楽が創作され、もてはやされて消えて行く作品も多数あるなか、このクラシックというジャンルは永く人類に愛され続けられている芸術の一つなのです。

ビートルズ、松田聖子、はたまたBABYMETAL！と現代の芸術家たちもこの数百年愛され続けているクラシックの前には一瞬かすんで見えてしまいます。

その根底に流れる思想、観念。普遍性をもった人間賛歌、歓喜。モーツァルト・ベートーベン・ブラームスが創造してきた作品群には言葉にできない魅力があり、また、それを演奏するアコースティックな響きには神々しさまで感ずることがあります。

さて、私事ですが、学生の頃からオーケストラでコントラバスを弾き続けております。そうです。あのバイオリンのでっかいの！です。しかし、形はバイオリンに酷似していますが、起源はバイオリンの兄弟であるヴィオール属が発生といわれていますので、さしずめ直系親族ではなく近い親戚といったところでしょうか。これも意外ですが、その大きさには決まりがなく、1800年代には現在のコントラバス(180cm)の2倍もあるようなものまで存在したようです。そんなコントラバスは最低音を担当しオーケストラの響きを左右する、調性、テンポを牽引する役目を担うこともあれば、対抗旋律を弾く事もあります。その大きさ、弦の太さが故に弦を支える駒には数百キロの荷重がかかり、よってコントラバス製作者は別名“家具屋”と呼ばれる事もしばしば。その強度に耐えうる躯体が必要なので、現存する数百年の楽器はほとんどなく、価値数億円もするバイオリンに匹敵するような楽器もない事も大きさから考えると意外な話です。ちなみにその強度保持のため最低価格帯の楽器は“構造用合板”が使用されているほど。

最後になりますが、いわきには2008年に建てられた“アリオス”という日本を代表するクラシック音楽ホールが存在しております。もちろん吹奏楽にもむいていますが、やはりなんといってもその本領を発揮するのはオーケストラということになります。日本(世界)のトッププロ演奏者間でも、非常に高い評価を得ています。是非とも食わず嫌いをなさらず一度“アリオス”でクラシック音楽を堪能されてはいかがでしょうか？

超高速参勤交代Ⅱ「老中の逆襲」講談社本・松竹映画の紹介

奥州磐城地方の小藩「湯長屋藩」を舞台とした松竹映画「超高速参勤交代」が昨年公開され観客100万人以上の大ヒット作となった。アニメや特撮や人気小説の映像化が主流の最近の邦画界では珍しい実録時代劇?だった。主演に湯長屋藩主内藤政醇には佐々木蔵之介、(最後の大家独身男優)ヒロインは深田恭子(アラサーの魅力満開未婚女優)家老 西村雅彦、忍者 伊原豪志、家臣団 寺脇康文、上地雄輔、徳川吉宗 市川猿之助、悪老中 陣内孝則と松竹映画社の底力を示した配役であった。脚本は腹黒い企みを持つ老中が通常の半分の日程で湯長屋・江戸間を参内せよとの厳命を、貧乏な藩財政、有能で個性的な家臣団、人望厚い健康な藩主の湯長屋藩が、知恵と勇気・やる気で達成する内容で、我孫子の安宿の飯盛り女・お咲(深田恭子)が絡む内容であった。宿場の参勤交代、殺陣、忍者と見せ場はあったが内容がTBSの「水戸黄門」的時代劇で、流血しない殺陣、昼間の忍者、歴史考証を無視した内容と噴飯物と私は理解した。最大の欠点は「水戸黄門」の呼び物お銀「入浴」シーンが無い事で、湯長屋藩(湯本温泉)、三十路のフカキョンが揃っていて何故「温泉」シーンを撮らないのか最大限に怒り心頭した。(金返せとは言えなかった、試写会だったので)

味をしめた松竹(株)はパートⅡを企画して、まず講談社から土橋章宏著「老中の逆襲」を9月に発売して、いわき市の「暮らしの伝承郷」で主演の二人・正醇とお咲きの結婚(身請け)のシーンからクランクインした。第一作はいわきでの撮影は無く、山形の映画村、京都の太秦が全てだった。映画のPRをいわき市長以下、市管理職が名刺の裏に映画の宣伝を印刷してPRに努めたのに冷たい扱いであったのを反省してくれた。

パートⅡ「老中の逆襲」は、政醇がお咲きを身請けする事から始まる。身請け金を集めるのに家老が苦勞すると言う情けない内容なのだが、第一作では殿様が閉所恐怖症で、便所の扉を閉められないとの輪を掛けた扱いであった。今年(H27年)秋の芸能界はブライダルラッシュ、出産ラッシュの希有な年になっている。山本・堀北、福山・吹石、田中・山口と超大物、話題性で世間を騒がせ、これからも愛之助・藤原、DAIGO・北川、

松潤・井上等のビッグカップルの誕生噂、シェリー、上戸彩さんの出産で女性週刊誌は騒がしい。SUMAP、TOKIO、嵐その他のメンバーが適齢期を過ぎAKB48、乃木坂48が適齢期を迎える。^(注1)

「超高速」でもフカキョン様が磐城の殿様に嫁入するという目出度い設定で時代を先取りして、いわき市民としては目出度さこの上無い。「フラガール」で女優・蒼井優さんは、いわき娘・紀美子になり「だだいま!」といわきに帰ってくれる。JR東日本の「大人の休日倶楽部」で、吉永小百合様は徳尼(失礼!徳姫)となって、白水阿弥陀堂・いわき市のPRに尽力してくれている。紅牡丹お竜の藤純子様も紀美子の母で、すでにいわき市民である。日本を代表する女優群がいわき市に関係して、深田恭子様がいわきに嫁入して来ると全ての世代が揃う事になる。十代はいずれ地元から登場する。(現代のシンデレラガール伊東美咲様もいわきで十代を過ごした。)映画パートⅡは江戸城天守閣の再建を貧乏湯長屋藩に腹黒老中が命令する事になるのだが、湯長屋藩の運命や如何にと楽しみである。個人的な要望としてはフカキョン様に是非とも湯本温泉に入って頂きたいのです。芳紀アラサーのフカキョンがいわきのお湯に浸ったとなれば湯本温泉の若い男性の人気ランキングは数段上昇する事、確実である。映画の中身が如何に荒唐無稽でもフカキョン様の裸身が湯気に煙るシルエットだけでも日本男子300万人が共感(奮い立つ事)を得ることが可能であると思われる。おじ(い)さんも元気になれる。

今度松竹(株)が期待を裏切ったら、筵旗たてて本社前(中央区築地)を抗議デモしてやろうと思っている。

(アフターシックスターのロックンローラー)

注1 アベクノミクス効果であると思う。仏語 avec(アベック)は英語の with と同意で現代フランスの少子化対策成功の元である。アベックは60才以上の年代には懐かしい言葉だ。来年はシンジロー氏が主役かもしれない。

追伸 11月25日、女優「原節子」さんの訃報が届いた。去年は高倉健さんであった。昭和がますます遠くなります。ご冥福をお祈りします。

NHK 海外ドラマシリーズ「情熱のシーラ」「トミーとタペンス」

NHK 地上波日曜日 PM11:00 からが熱い。昨年は英国貴族の「ダウントン・アビー」で盛り上がった。第一次大戦前後の古き良き英国貴族の暮らしを巨大な貴族館を舞台に絢爛豪華に演出した。石造りの館で繰り広げられる人間模様はお茶漬けを食べている日本人には糞詰りを起こすような苛烈な内容だった。

今年前半はスペイン・北アフリカを舞台にした「情熱のシーラ」で、少し地味なスペインダリアの様なヒロインがモード・ファッションの職能を使い、スペイン動乱・第二次大戦をスパイとして逞しく生き抜くサスペンススペクタクルで、ハラハラドキドキの連続、スペイン、北アフリカの灼熱の太陽、灼けた大地、複雑な人種模様、目に染みる様な白い建造物、濃い深い容姿の男女が繰り広げる愛憎が、全体主義・共産主義・民族主義の中で煌めいた。強烈なジェットコースターの様なストーリーの展開に、平和ボケした日本人の理解力（個人的）が付いていけないのが欠点であった。戦前戦後の個性的な欧州車と地中海周囲の景色・風俗が共に楽しみであった。

今年後半 10月18日から始まったのが、アガサ・クリスティ原作の探偵ドラマ「トミーとタペンス」

」で、第二次大戦後の冷戦初期のロンドンを舞台に、気の良い若い夫婦が謎解きに挑む。気の良い夫トミーは英国の渡辺徹君と呼べる雰囲気、好奇心旺盛な妻タペンスはNHK朝ドラ「マッサン」で人気を博した、シャーロット・ケイト・ホックスさんが母となり、スレンダーでキュートな魅力を発する様。スパイ物のサスペンスが手際よい演出で、魅力的で落ち着いたロンドンの市街地・住宅地・住宅を舞台に繰り広げられる。英国・ロンドンの市民の暮らしが、調度品、ファッション、食事、交通、ビジネス、サニタリーと手に取るようにTV画面に溢れて来る。日本のバラエティ番組のゲストタレントの顔、ドラマの背景の暮らしと比べると、日本人に生まれた事がかなり悲しくなる。

英国を代表する名車・ミニが生産される前で、モーリス・アングリカのカントリーマンが走るロンドン市内郊外の景色は貧血になる位に魅力的だ。その景色はたぶん現代ロンドンの景色である。世界は広く、魅力・快適の奥深さは日本では達成されていない事が実感されて、明日からも（月曜日から）頑張ろうという気分になってくれる。Thank you! NHK。 (英国カブレ)

TOTO創立100周年を迎える記念事業の一環として開設

「TOTOミュージアム」8月28日(金) グランドオープン

～創業の地「小倉」から、TOTOブランドを世界に発信～

九州に旅行されるときは、是非ともお寄りください。)



現代の都市は水洗トイレと水浄化装置が支えています

伊勢志摩サミット会場

2016年の世界先進国会議 Samito^(注1)は日本で会場で、ホスト役の日本国の首相、安倍晋三氏は会場として、昨年遷宮の済んだ伊勢神宮の近く伊勢志摩観光ホテルを会場に選定した。伊勢志摩観光ホテルは建築設計に携わる者であれば、昭和の日本建築設計界の西の巨人・村野藤吾氏^(注2)の代表作の一つとして知っているはずで、旅慣れた方や、グルメであれば日本最高の松坂牛の霜降りステーキ、伊勢志摩のあわびのステーキ、伊勢海老の寿司、海産物と日本一の食材を提供し、島々が浮かぶ伊勢志摩国定公園の絶景と共に、人工美・自然美・自然の恵みの三位一体を完璧に満たす特別な場所である事を知っている。伊勢神宮周囲の神宮に係る人智の豊かさを含めて。

安倍首相のセンス、天運は日本の最善の資質(永い日本の歴史の中でも)を先進国首脳に嫌味なほどにこれでもかと思わせる事になる。

ところで世界先進国の首脳に先駆けて伊勢志摩観光ホテルで日本の最高の幸を堪能してみようかと思いついた貴方、貴方の希望にはいくらお金を積んでも残念ながら応える事が出来ない。別に安倍首相が意地悪している訳では無く、物理的に不可能なのである。

今、伊勢志摩観光ホテルは、全面改装・耐震補強工事の真っ最中なのです。世界中の政治的VIPの方々に安心して忌憚りの無い意見交換をして、ここから寛いで頂くために、盗聴、テロに対して完璧な防御態勢を整えるべく^(注3)、骨組み耐火材以外の殆どを新しくして急ピッチで、工事日程をこなしているはずです。

サミット出席者達がどんな感想を残して日本を後にするかは、安倍首相ならずとも国民の一人として楽しみです。その後伊勢志摩観光ホテルフロントには天文学的な予約リストが連なるでしょうから、今生の間に日本の(世界の)最高の、至上の美味を味わいたいと願う貴方!。せいぜい長生きして下さいネ。(伊勢湾のフジツボ)

注1 先進国首脳会議7か国+EU議長、露国はいったん加入したが行儀がわるいので締め出された。

注2 村野氏は関西民間の仕事が主で、東の巨人丹下健三氏は官工事、国際工事が主。

注3 ゴルゴ13対策として防弾ガラスは必須で、麻生財務大臣はチェックしたはずです。

専称寺特別修理工事 本堂・総門

梅のお寺で有名な平山崎の専称寺が東日本大震災で危険な状態となり、大修理の真っ最中です。国指定重要文化財である専称寺は文部科学省の改修補助を受け、公益財団法人文化財建造物保存技術協会(専称寺本堂及び総門 設計監理事務所 所長 篠永昌幸)の工事監理、歴史的建造物・伝統的建造物造営で定評のある(株)松井建設の施工で工事中です。4年前より慎重な事前調査、解体保存工事でスタートして、昨年くい打ち・基礎基礎盤工事、今年木軸工事に入りました。江戸時代の建立当時は茅葺屋根であったのが、明治期の改修で瓦葺とした事で無理が生じて、建物が傾く事態が生じました。改修工事にあって当初の茅葺屋根は維持管理費が現実的で無いので、形態を維持して銅板葺きで復元されます。総門は工事が完了していて、耐震機能を備えて同じく銅板葺き屋根で再現されています。本堂は今が屋根小屋組みの



10月時点の小屋組全景

一番の見せ場ですので是非とも工事監理事務所に☎を入れて見学して下さい。伝統文化財工事の専門職の職場・現場が堪能できます。修理工事費は通常新築の数倍の額だそうで、日本の真の豊かさを実感できます。国民の汗の結晶(税金)で文化財は守られている事が実感できます。(壇蜜蜂)

「日本国憲法」はバラック建築の屋根

日本国憲法は第二次世界大戦敗戦の米軍占領下の昭和 21 年 5 月に発布された。

今から 70 年弱前の昔である。当時の日本の主要都市は米軍の空襲により焼野原で、建てられたのは資材不足によるバラック建築、もしくは米軍のプレハブ宿舎・格納庫である。

バラック建築は鉄板葺き屋根 + コールタール塗、寄せ集めの寸足らずの柱、外壁板張、内装は土塗壁であったと想像される。プレハブ宿舎は「金太郎飴」のように同じ平面・断面の建物が土地の広さに応じて何処までも続き広がる味気ない物だったと想像するが、敗者日本人から見れば、仰ぎ見る米国工業製品であった。

現在日本国内の主要な法律は約 8,000 本あるのだそうで、日本社会は 8,000 本の柱に支えられたソフト社会である。日本人の明晰の証として、ソフトパワーの象徴として増えて来て。複雑怪奇な現代社会は法律によって支えられている。法律は増えると同時に補強作業があって、常に不備な点は補強改良されている。建築業界は昭和 25 年の建築基準法、同 23 年消防法、同 43 年都市計画法等で成り立っていて、常に改正改訂作業が行われていて講習会が開かれるのが常である。

他の業界・分野でも同様であろうから法律を扱う弁護士の仕事量・情報量は膨大でいかにも困難な仕事に思われる。収入が良い職業としての医療は「命」を扱う、基本的に失敗が許されない重圧に耐えうる人格でないと勤まらない。多くの専門分野に分かれて対応しているのは頷ける。プロスポーツ選手は高度で単純な運動の繰り返しの競争だが、出場枠が限られていて、チャンスを得る競争が激しくて大変厳しい職業だと思う。

話は本題からそれたが、社会生活を支える法律

は常に変化を強いられているのに、全く変わらない（一字、一句）法律が存在している。日本国憲法である。変わらない理由は改正に反対する集団が存在するからだと思うが、その他には「安全保障」に関して述べれば、日本国は外国・異民族に侵略された経験がほとんど無いために平和の切実感が無いのだと言える。極東の島国に位置した為に、中華思想の中国には興味を持たれず、事大主義の韓国には相手にされず、特異な元帝国に興味を示されたが台風（神風）が関係を断ち切った。西洋諸国は明治維新・文明開化を、米国は民主主義と平和憲法を与えてくれた恩人である。

大陸に住み異民族・異文化と国境を接して抗争を繰り返した欧州・中近東・アフリカ大陸の平和思想とは異質な平和思想が日本に構築・維持された。

日本国憲法はバラック建築の屋根だと思う。8,000 本の強固な柱に支えられた安普請の屋根だと言える。形は入母屋・唐破風の威厳のある姿に遠目には目えるが、材料は極薄鉄板のコールタール塗りだ。憲法が 70 年前の戦後処理の内容のまままで良いと主張する集団は日本社会の弱点を残そうとしている。重量物を落とせば穴が開くし、火矢を打てば類焼する弱点だ。隣国の軍事パレードを導き込む意図が明白だ。現在の大雨・強風の自然災害にも対応出来ないのは明らかだと思う。

屋根の下には日本国の文化・文明、国民の財産・暮らしが守られている。守るべき物があるのに警戒しないのは、オレオレ詐欺に騙される様なものだ。オレオレ詐欺師達は明確な意図を持っている。雨の少ない地域の建物にも強固な屋根が掛けられている、太陽光線を遮蔽し内部環境を守るために、強固な屋根は必要だ。早急のリホームが必要だと思う。（小野田 博）

縄文時代・三内丸山遺跡：NHK スペシャル

11 月 8 日（日）PM9：00 よりの NHK スペシャルは日本の縄文時代を三内丸山遺跡を中心に解説して驚くべき内容であった。石器時代・狩猟収集文化である日本の縄文時代は世界の同時代と比較して飛びぬけて優れているとの英国人考古学者の研究発表があった。サステナブル社会（持続可能社会）であり、約 1 万年もの間維持された事。粟を主食として食性が豊かで、定住出来、三内丸山遺跡の主建造物に代表される巨大な建造物を創りだし（三層の櫓）、驚くべき事に縄文時代に建築・土木の専門職が存在したと推測している。材料は

巨大な栗材の丸太を組み合わせている。現代に通じる縄文文化の遺産は名前の示す縄文様、火炎模様で、世界に誇れるデザインである。発掘される土器は煮炊きされた事証明して食性の豊かさを証明している。1 万年以上前から日本人は優れていたなどと、中国と友好関係にある英国の考古学者に褒められても俄かには信じがたいのだが、悪い気はしない。

三層の櫓は現代の高台の遠い海岸線に計画される津波避難施設にも通ずる物がある。（栗虫）

建築家オスカー・ニューマイヤー展

H27年初秋に東京都現代美術館で開催。100才の生涯を建築家として全うした幸福な人生。50～60才代の円熟期に母国ブラジルのまっさらな新首都ブラジリアのほとんどの政府主要建物を設計出来た幸運・強運の持ち主。展示企画はSANA（西川隆衛）が担当して、1/50、1/10の建築模型と完成写真を展示して、美術館展示としては異例の写真撮影可能であった。

嬉しい事に展覧会最終日前日に駐日大使キャロライン・ケネディ（C・K）も屈強な男女ボディガードと共に来館されていて、背の高い中年の男性が夫であるかと思った。C・KとはTVを通して50年来の一方通行の面識があると思っている。TVで見るC・Kは中年のスレンダーな中背の白人女性の印象であるが、少し残念な事は顔の皺を気にしてなくて年齢よりも深く多い様に思っていた。美容整形手術をすれば何の問題もなく（韓国女性は常識で、H・クリントン氏が太っているのは夫ストレスと加齢）、

こだわらない性格なのだろう。実際のC・Kは中背170cm位の身長で、笑顔を振りまきフランクな性格、写真を撮ったり（建築写真、模型の展示なので美術館内で写真OKであった）、高い台に登ったりとO・N展を楽しんでいた。私はC・Kと同年代の妻と同行していたので、貴方の方が

若く魅力的であると伝えると彼女はさも当然という顔をして（勝ってる！）返事をしなかった。驚きはさらにあってC・K一行を写した美術館内の写真は1枚しか存在していなかった。カメラはCANON AE-95で新しい物では無く、落っことしてもいるが撮影失敗の記憶は無い。妄想を重ねれば米国大使は電子バリアーに守られていて民間人の写真撮影は不可能なのかも知れない。米国恐るべしである。C・Kが来場する前からの写真も1枚しか無いので私の撮影ミスの可能性が高いが人生発のデジカメ写真経験である。

C・Kの写真が無い事に落胆して、私の妻がC・Kよりも魅力的である事を証明する写真が残らなかったにも落胆して、思うのはキャロライン・Kの様な米国の至宝を預かる日本の存在である。戦国時代であるならば人質の様な役割を多民族国家・アメリカ合衆国を統べる民主党オバマ大統領は、党の至宝であるJ・F・Kの娘に担わせている。これ以上の信頼関係はたぶん地球上には過去にも未来にも存在しないのでは無いかと私は思う。最悪の過去の上、太平洋戦争（J・F・Kも参戦した）原爆投下の上に建つ脆い関係ではあるが。現在の日米関係が幸福である様に、私達も幸福に見えるのだと確信出来た東京日和でした。

（エリーとマッサン）



オスカー・ニューマイヤーの別荘
柱S造、屋根RC造のユニークでスマートな構造。平面は曲線でアメーバー状。自由で若々しく豊かで名声も得た建築家として理想的であった。

安藤忠雄氏の秘密

月刊誌「サイゾー 10月号」で世界的建築家を特集していて興味深かった。トラブルメーカーとしてのF・R・ライト氏、結婚・離婚の回数、施主の奥さんと恋に落ちる、家族が悲劇にであう等。日本で帝国ホテルを担当したのは不倫逃避行の旅行先であったのは有名な話。ル・コルビジェはマザコンで恐妻家、妻を亡くして後を追うように地中海サンマルタンの海で水死した。彼は建築情報誌を刊行していて、気鋭の建築家としてル・コルビジェ氏を賞賛していた。インドのチャンデガール首都計画でコンクリート打ち放しの建物の前を籠に石を入れて人力で運ぶインド女性の印象的な写真はコルビジェ自身の撮影による。NYの世界貿易センタービル（ツインタワー）の設計者ミノ

ル・ヤマサキ氏はライト型で数回の結婚・離婚を繰り返して同じ人と再婚もしてる。哲学的空間設計者として名高いルイス・カーンは、少年時代に顔にやけどを負った。小柄な体躯で金儲けのヘタな建築家であったが、3人の子供の母親は全て別人というある意味で豪傑であった。1回だけ離婚再婚したのは丹下健三氏と黒川紀章氏。

安藤忠雄氏は師コルビジェ氏に習い愛妻家であり恐妻家。海外の仕事を支えるのは由美子夫人。建築家としてスタートした時に年賀状を1,000枚以上出していて、設計事務所を始める前に日本中の有名建築、ヨーロッパの有名建築物を見てスケッチする旅行を取行している。名を遺すのは並大抵のことではない。
(芸能雀)

表紙の説明

さくらムーブメント

日本を代表する花は「桜」であると断言して異論は少ないと思う。皇室は菊で日本政府は桐が御印である。今日本と福島県浜通り、いわきでそれぞれ「桜ムーブメント」が躍動している。いわきでは平中神谷の丘陵地で志賀忠重氏が「いわき万本桜プロジェクト」を企画して、桜の「花見山」を造ろうと奮闘されている。福島市の花見山は個人の花木園を充実させて、福島市の全国的な名所にした。三春の滝桜は日本三大桜木に数えられている。福島市の「花見山」は北側斜面であるが「いわき万本桜公園」は南面の丘陵地で舌状に平地に張り出していて三方から遠景が楽しめる。いわき回廊美術館、天空に放り出されるブランコ、ツリーハウス、桜記念植樹、野外コンサート場、BBQコーナー等が設置されている。駐車場確保の問題、構想整備の手助け不足等の難問を抱えながら、志賀氏はブルトナーの様に丘陵地を駆け廻っています。(連絡先 0246-88-8970)

福島第一原子力発電所事故現場である福島県浜通りでは「浜通り桜プロジェクト」が進行中です。内容は特集記事の西本由美子会長を読んで下さい。地方自治体・県・国家をも飲み込もうとする男性社会が引き起こした人類の危機に、敢然と立ち向かう女性リーダーの奮闘です。

手にする物はスコップと桜の苗木です。放射能汚染された大地を桜木で癒す遠大なプロジェクトで、夜ノ森公園の桜の古木が今や遅しと待っています。(連絡先 0240-23-6172)

胸の三つの桜花を掌で守る、大和尊の子孫達がイングランド島で世界に飛翔した。WC・RUGBY 英国大会で、ラグビー関係者以外の99.9%の日本国民が期待していなかったJAPANの勝利を「安保法制」結審の翌日深夜にもたらし、「No side」の笛が世界中に木霊した。その後の活躍・話題は日本中・世界中のマスコミが報道したので衆知の通りである。和式がRugbyの世界でも通用する事の証明(驚愕の猛練習が支えであるが)は日本国民を奮い立たせるものと思える。東日本大震災・福島第一原子力発電所事故は「国難」であったが、国民の美質、国体の美質を見直す機会でもある。「桜花」は日本の過去・現在・未来を示す姿です。
(蜂の武蔵)

追伸 JAPANを率いたエディ・ジョーンズ氏は、WC英国大会の後、南アフリカの監督になる予定であったが、結局イングランドの監督に納まった。ラグビー発祥の地の監督であるから最重責である。JAPANを指導することは出来ないが、その表情からは正直なJAPANの評価が読み取れると思う。新しい日英同盟の確立だと思う。

スピリッツの形

テーマ「静」

高久 香扇（香代子）

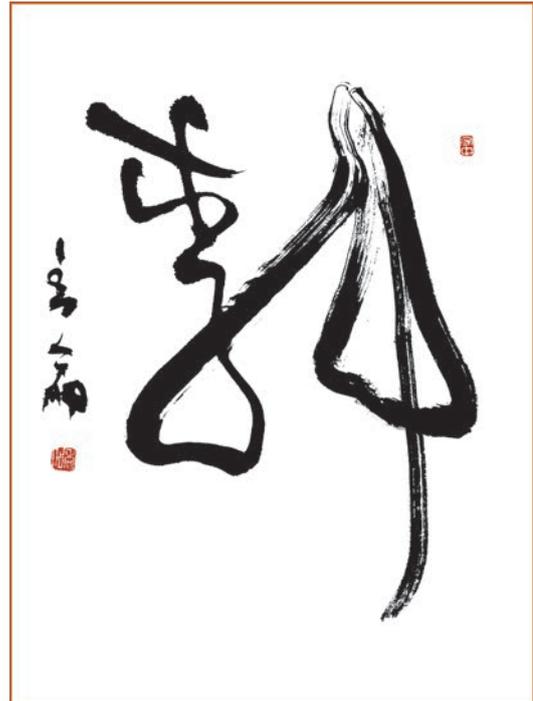
東日本大震災で私の住んでいる地区は海岸沿いに位置し、大津波により甚大な被害を受けました。大切な家族の命を奪われ、思い出の詰まった自宅は流されました。さらに原発事故が追い討ちをかけ、慣れ親しんだ町は一変しました。

震災から月日は流れましたが、地区にはまだ心の傷が癒えずにいる住民も多く見られました。そこで、住民のコミュニティの再生と地域活動を通じ地元の活動の活力になるよう平成26年4月に「永崎女性の会」を発足しました。献血の呼びかけや富岡・浪江・双葉・大熊地区災害県営住宅の方々との花植え交流会、永崎小学校での絵本の読み聞かせと本の貸出し受付、県道沿い長さ100メートルの花壇の花植えなど会員は精力的に活動しております。実は、この会の会長は私なのです。素晴らしい考えに賛同していただけたはずが、よもや会長という網ひっかかってしまうと・・・。「協力しますから」「あなたしかいない」という甘い言葉に惑わされ受けました。そして、何とかしなければと走り続けてしまった。

今、すごく疲れています。もう、息切れしてしまいそう。きっと、何も言わないけれど、会員の皆さんも同じではないかと思う。

少し、ゆっくり静かに自分を見つめ、静かに周りの意見を聞き静かに行動したい。

今回の書体は筆に墨をたっぷり付け素早く書く草書で、「静」はわたしの好きな文字です。



高久香扇（たかくこうせん）

本名：高久香代子

住所：いわき市永崎字館73の8

聖雲書道会 副会長（昭和58年5月入会）
会長 田久芳崖

次号第34号テーマ「理想社会」

「理想社会の構築」は33号用に独断で決めたテーマであったけれども、成り立つかどうか（意見が集まるかどうか）不安であった。苦し紛れに「相対的理想社会」を広報委員会に提案したけれど、余計に解りずらくなった事が解った。

いわき市は震災復興で多くの相双地区の避難民を受け入れ、除染作業員・原発事故対策作業員を受け入れ、多くの復興住宅が次々と建設された。10年分以上分の住宅がこの数年で建っている。避難民・作業員はいわき市民では無いので、市税は増えないが消費・活気は明らかに増大している。全国で問題視されている空き家問題はいわき市には存在しない。帰還が可能になった双葉郡の町村の年間予算は震災前の数倍の額に膨れ上がり、スーパーゼネコンが請け負う除染作業の工事額は国家・県のビッグプロジェクト級規模が数本分発注されている。いわき市にも大きな計画が想定されている。異常なほどの成長・発展を遂げるであろう「いわき市の未来」を考え・思う時に「理想」は大事なポイントであると考えます。

日本国は現在、安倍丸に先導されて経済発展の只中にある。2020年の東京オリンピックまで5年間は目を瞑っても右肩上がりの経済が続く。ITによる省力化、電気・空調・自動車の貪欲なまでの省エネ、文化の洗練も進む。日本のスマート、クールは世界最強と自慢して笑えるライバル国は存在しない。今こそが「理想社会」を論じるに最適な時であると考えます。みなさん考えて頂けますでしょうか。（理想のフラオジサン）

追伸 山本・堀北、福山・吹石、田中・山口の各カップルが決意したのは今が理想的な時代・相手であると思えたからだと思ふと野暮天オヤジは思います。これからSUMAP、TOKIO、嵐、V6、NEWS、etc. AKBも乃木坂もパフェーム(?)も適齢期の只中なので、たぶん日本芸能界はブライダルラッシュになります。理想のカップルはどのCでしょうか?。(ツヨシとシンゴのカップルなんてのは止めてほしいな!)

いわき建築士

15.12 第33号

平成27年12月1日発行

発行人/蛭田 修二

編集人/小野田 博

発行所/福島県建築士会いわき支部

〒970-8026

いわき市平字谷川瀬双藤町12-1

TEL (0246) 2 2-4 4 3 3

Eメール sikai-i@alto.ocn.ne.jp

FAX 2 2-4 4 4 0

印刷所/有限会社平電子印刷所

〒970-8024

いわき市平北白土字西ノ内13

TEL (0246) 2 3-9 0 5 1

Eメール info@tairadenshi.jp